保谷
 高等学校
 令和6年度(3学年用)
 教科
 国語
 科
 科
 単位数:
 2
 上述
 上述
 上述
 上述
 科目 論理国語

教 科: 国語

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組 使用教科書:(<mark>三省堂「新 論理国語」</mark>

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】<mark>学習を通して、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</mark>

【学びに向かう力、人間性等】<mark>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</mark>

科目 論理国語

714		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	え、自分の主張が的確に伝わるように工夫する。	粘り強く学習に取り組み多様な論点や異なる価値観と結び付け、新たな視点から物事を考え、 自らを深める。

)

	光二の日仕始れた道口標	指導項目・内容	領	域		評価規準		思	能	配当
	単元の具体的な指導目標		話・聞	書	読		재	心	恋	時数
	A 具体と抽象の関係を理解するために 「知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落構造 や論の形式など、分掌の構成や展開の仕方 について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係 を把握し、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 設定した題材に関連する複数の文章や 資料を基に、必要な情報を関連づけて自分 の考えを広げたり深めたりする。	【指導事項】 ・文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する。 ・必要な情報を関連づける。 【教材】 「人材」 「プラスチックごみについて考える」 「説得力のある文章を書く」 【内容】 本文読解及びグループワーク	0	0	0	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落構造や論の形式な ど、分掌の構成や展開の仕方について理解を深められ ている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内 容や構成を的確に捉えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必 要な情報を関連づけて自分の考えを広げたり深めたり することができている。	0	0	0	14
1 学	定期考查					得点	0	0		1
	B 批評するために 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続 の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方 について、書き手の意図との菅家において 多面的・多角的な視点から捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 設定した題材について、分析した内容 や、仮説を文章にまとめるための工夫をする。	【指導事項】 ・批評し、批判的に検討する。 ・書き手の立場や目的を考える。 【教材】 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」「日本漫画のブルーオーシャン戦略」 「報告分を書く」 【内容】 本文読解及びグループワーク	0	0	0	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深められている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との菅家において多面的・多角的な視点から捉えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 設定した題材について、分析した内容や、仮説を文章にまとめるための工夫をしようと努力している。	0	0	0	15
	定期考査					得点	0	0		1
	○ 譲歩を関連づけて自分の解釈を形成するために 【知識及び技能】 情報の重要度や抽象度などによって階層化して整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 関心持った事柄について資料を調べ、自分の主張が的確に伝わるように工夫する。	【指導事項】 ・必要な情報を関連づける。 ・内容の解釈を深める。 ・主張が的確に伝わるか吟味する。 【教材】 「学材】 「学校とは何か」 「多様な知識の組合せを」 「自己推薦文を書く」 【内容】 本文読解及びグループワーク	0	0	0	【知識及び技能】情報の重要度や抽象度などによって階層化して整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 関心持った事柄について資料を調べ、自分の主張が的確に伝わるように工夫している。	0	0	0	16
2 学	定期考査					得点	0	0		1
	D 解釈を広げたり深めたりするために 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 関連する資料を調べ、整理して、様々	【指導事項】 ・考えを広げたり深めたりする。 ・自分の考えを捉え直し、新たな観点 から 自分の考えを深める。 ・学習を活かして書く 【教材】 「未来ありか」 「リスク社会論」 「卒業論文を書く」 【内容】 本文語解及びグループワーク、卒業論 文作成活動	0	0	0	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため に必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通 して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内 容や構成を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 関連する資料を調べ、整理して、様々な観点から自 分の意見や考えを論述することができる。	0	0	0	16
	定期考査					得点	0	0		1
3 学	まとめ	【指導事項】 ・大学入試問題を解けるようにする。 ・学習を活かして書く。 【教材】 「卒業論文を書く」 【内容】 ・大学入試問題に取り組む。 ・卒業論文作成活動。		0	0	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため に必要な話句の量を増やし、文章の中で使うことを通 して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 関連する資料を調べ、整理して、様々な観点から自 分の意見や考えを論述することができる。	0	0	0	5
期										合計 70

 保谷
 高等学校
 令和6年度(3学年用)
 教科
 国語

 対象学年組:第
 3 学年
 1 組
 組

 使用教科書:(
 「探求 古典探求 漢文編 桐原書店

 教科 国語
 の目標:
 科目 古典探求 単位数: 3 単位

【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の大学入試問題演習に取り組み、受験を意識した総合力を養成する。

【学びに向かう力、人間性等】 <mark>その時代の生活や思想への認識を深めると同時に、進学に対応できる学力を身につける。</mark>

【学びに向かう力、人間性等】 ・その時代の生活や思想への認識を深めると同 時に、進学に対応できる学力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 漢智 (物語・評論) 【知識及び技能】 文法の基礎知識を踏まえて、人試に 対応できる説解力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等] 登場人物の発言の真意を話し合う。 【学びに向かう力、人間性の グループになって振り返りをする。	令昔物語」「建礼門院右京大夫 集」「仲政物語」「無名抄」 報、「仲政物語」「無名抄」 動詞、形容詞、形容動詞、形容動詞、別詞など の文法方、語彙力を身についる。登場 してきる説解力を身についる。登場 人物の状況を説明し、ロイロノート は提出する。他の生徒と意見交換を する。	【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	7
	B 史伝 【知識及び技能】 漢文の基本的な句形、古文の文法の 基礎知識を替まえる。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に人物関係や内容を把握する力 を劣につける。 【学びに向かう力、人間性等】 整備人物の行動理由を理解する。	「鴻門之会」「龍一不可能」「受 漢文の句形 「可能・不可能」「受 身」「仮定」や、古文の「助動詞」 知識を踏まえて、的確に人物関係・ 内容を把握する力を身につける。 内容を把握する力を身につける。 する。	【知識及び技能】 漢文の基本的な句形、古文の文法の基礎知識を 踏まえている。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に人物関係や内容を把握する力を身につけ でる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動理由を理解している。	0	0	0	6
1 学				0	0		2
期	€ 漢習 (物語・評論) 【知識及び技能】 文法の基礎融隆 路まえて、入試に 対応できる誤解力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の考えの真意を話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをする。	「菅笠物語」「宇治拾遺物語」「大 菓子」「平家物語」「大鏡」助動 助助を一心とした文法、語彙力 を高め、入試をできる読祝を設明 よいに対応できる読祝を設明 し、ロイロノートに提出する。他の 生徒と意見交換をする。	【知識及び技能】 文法の基礎知識を踏まえて、入試に対応できる 遊解力を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【をおの考えの真意を話し合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをしている。	0	0	0	8
	D 史伝 【知識及び技能】 漢文の基本的な句形、古文の文法の 基礎知識を踏まえる。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に人物関係や内容を把握する力 を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動理由を理解する。	「鴻門之会」 漢文の句形 反語」「使役」「抑 漢文の句形 反語」「使役」「抑 揚」「否定」「強調」などの知識を 踏まえて、的確に人物関係や内容を 把握する力を身につける。ロイロ ノートで生徒同士で意見を交流す る。	【知識及び技能】 漢文の基本的な句形、古文の文法の基礎知識を 踏まえている。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に人物関係や内容を把握する力を身につけ ている。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動理由を理解している。	0	0	0	8
	定期考査			0	0		2
	A 漢智 (物語・評論・日記・説話) 知識及び校託] 文法の基礎知識を踏まえて、入款に 対応できる影解力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 参組人物の差言の真意を記し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをする。	「増鑑」「後頼鶴順」 現中納言物 請」「販異別」「土佐日記」 尊敬 語、誰譲語、和高め、入試に対応でき る謎解力を身につける。登場人物の 状況を認明し、ロイロノトに提出 する。他の生徒と意見交換をする。	【知識及び技能】 文法の基礎知識を替まえて、入試に対応できる 諸解力を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の発言の真変を話し合っている。 【学びに向かう力、人間性別 グループになって振り返りをしている。	0	0	0	7
	B 漢辞 【知識及び技能】 漢語の基礎知識を踏まえる。 【思考力、判断力、表現力等】 心情表現の理解、和歌の読解力を深 の 【学ないに向かう力、人間性等】 特殊な日記の形態を理解する。 定期考査	「長慎歌」 漢詩の基礎知識を踏まえて、的確に 心情表現や和歌の謎解の力を身につ ける。ロイロノートに提出する。他 の生徒と意見交換をする。	【知識及び技能】 漢詩の基礎知識を踏まえている。 【思考力、判断力、表現力等】 位情表現の理解、和歌の記憶力を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 特殊な日記の形態を理解している。	0	0	0	6
2		「循氏施器」「十审記」「無夕芸	「ケロ発性では、イギナナ会と】	0	0		2
子期		「擬氏物語」「古事記」「無名草子」「去来学り 子」「去来学り」 歌語表現の応用、和歌の修辞などの 文注力、語彙力を高め、入試に対応 文注力、活動力を高め、入試に対応 が成形で説明し、ロイロノートに 提出する。他の生徒と意見交換をす る。	【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の発言の真意を話し合っている。	0	0	0	8
	D 漢詩・故事 【知識及び技能】 漢詩の 基礎知識や句形を踏まえる。 【思考力、判断力、表現力等】 心情表現の理解、和歌の読解力を深 ある。 【学びに向かう力、人間性等】 特殊な詩の形態や句形を理解する。	「総句」「律詩」「画竜点睛」「杞 要」 漢詩の基礎知識を踏まえて、的確に 心情表現や和歌の読解の力を身につ ける。ロイロノートに提出する。他 の生徒と意見交換をする。	漢詩の基礎知識や句形を踏まえている。 【思考力、判断力、表現力等】 心情表現の理解、和歌の読解力を深めている。	0	0	0	8
	定期考査			0	0		2
	大学人試問題演習 自己採点する際に注意することを確 認する。	共通テスト、私大過去問題、模擬テストなどを利用して演習を行う。古 文単語テキスト、古典文法演習ノートを参照して、知識を再確認する。	自己採点する際に注意することを確認している。				10
3 学期							
							合計 76

国語 保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 科目 文学基礎

 教 科: 国語
 科 目: 文学基礎

 対象学年組: 第
 3 学年
 1 組~
 8 組

使用教科書: (筑摩書房「文学国語」

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習を通して、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。

【学びに向かう力、人間性等】 <mark>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</mark>

科目 文学基礎 の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、 その特質を理解し適切に使うことができるよう にする。

	光二の目仕めた北道口標	化道符目 中央	領域			5元/正·相·维	έn	_	会比	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	時数
	A 物語との出会い ・小説を用いて、説明と描写の違い を理解したり、作者の意図を描写か ら理解したりする力を身に付けさせ る。 ・小説を読むことと、解釈すること の違いを理解させる。	【指導項目】 ・ガイダンス〜小説のポイント〜 ・小説 【教材】 「神様」と「神様2011」 【内容】 【内容】 【内容】 ②語り手と「くま」が、互いに相手をどのように感じ、行動しているかを、情景ととは想像しながら読み味わかせる。 ②)眠る前に少し日記を書いた」とあるが、どのような日記か。「わたし」になったつもりで200字以内で書かせる。 ③参考「神様201」を読み、元の「神様」との相違点を抜き出して、物語の句。 象がどのように変わったか、話し合う。	0		0	知識:(1)アウエ 読む能力:アイエオカ 主体性:学習の見通しをもって言葉がもつ価 値への認識を深めようとする姿勢がある。	0	0	0	7
	定期考査					得点	0	0		1
1 学期		【指導項目】・随想、評論 【教材】 「死者の声を運ぶ小舟」 「内容) 「文学の力」について、筆者の主張を読み取らせる。 ②本文中に例として挙がっている文学作品の中から一冊を選んで読み、感想を800字程度でまとめさせる。 ③本文は素語で発表されたが、本文を英語で語る意義について話し合わせる。	0		0	知識: (1)アイウエ(2)アイ 読む能力: アイエオカ 主体性: ものの見方、感じ方、考え方を深め、 自らの学習を調整しようとする姿勢	0	0	0	7
	定期考査					得点	0	0		1
2		【指導事項】 詞数 【教材】 「小景異情」「サーカス」「永訣の朝」 「短歌」「死にたまふ母」 【内容】 ①それぞれの詩の作者について、経歴 や作風などを調べさせる。 ②それぞれの詩の表現や内容について読 み解かせる。 ③それぞれの詩を、構成・リズムに注意 して朗読させる。 ①三編の詩から自分がもっとも気に入った詩を選び、400字程度の鑑賞文を書かせる。 ⑤明治・大正期に活躍した他の詩人について調べ、自分の気に入った詩と、その	0	0		知識: (1)アイウエ(2)アイ 書く能力:アイウエ(2)アイ 書く能力:アイラスでは積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え 方を深めようとする姿勢。		0	0	8
学期		理由を発表させる。				得点	0	0		1
	D 日常の裂け目 ・現実と非現実とをつなぐ小説の深みを理解する。 ・詞には抱像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、語感や話彙を豊かにする。	【指導事項】 「小説 (教材】 「捨てない女」「難」 「技でない女」「難」 「内容】 ①比喩と想像力が生み出すことばの広 りを読み味わわせる。 ②本文から印象的な表現を遵び、どのような点が印象的なのか考え、その表現を 参考に短文を書かせる。 ③〕額」が意味するものを考える。 ① 和りの主題は何か、話し合わせる。	0	0	0	知識: (1)アイウエ(2)アイ 読む能力:アイウエオカキ 主体性: 読書に親しむ態度		0	0	7
	定期考査					得点	0	0		1
3 4		【指導事項】 大学入試問題演習 【教材】 尚文出版「共通テスト対策国語マー ク完答M 現代文」			0	知識: (1)アイウエ(2)アイ 読む能力:アイウエオカキ 主体性: 読書に親しむ態度	0	0	0	2
学期										合計 35

【思考力、判断力、表現力等】現代文の大学入試問題演習に取り組み、受験を意識した総合力を養成する。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文章に対応し、作者の認識を深めると同時に、進学に対応できる学力を身につける。

科目 現代文演習 の目標:

科目 現代ス演習 の目標:
【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】
・今まで学習した現代文の基礎を踏まえ、より 現代文の大学入試問題演習に取り組み、受験 作者の思想への認識を深めると同時に、進学 変の高い文章を読み、国語のおもしろさを味わ を意識した総合力を養成する。 に対応できる学力を身につける。 う。 ・接続詞や文章構造など、大学受験に対応した 応用レベルを身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準		思	態	配当時数
	A 演響 (評論) 【知識及び技能】 振語中の外来語に関する知識をつ け、他の言葉に言い境える。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字の読み書きができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをする。	・詳篇なの文章構造を理解させ それから問題は何なのかを見 つけ出させ、その答えとなる部分 を探しあてる。現代と過去の共通 成から筆名の言いたいこと考え させ、ロイロノートに提出する。 他の生徒と意見交換をする。	知識及び技能] 難語句や外来語に関する知識をつけ、他の言葉に言い換えている。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字の読み書きができている。 問題に対して正対し、文末表現に気をつけながら解答している。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをしている。 意銘的に語彙の意味を辞書で調べようとしている。	0	0	0	7
1	国演習 (創策) 【知義及び技能] 理話句や外来語に関する知識をつ け、他の言葉に言い換える。 【吃考力、判断力、表現力等】 問題に対して正対し、文末表現に気 をつけながら解答する。 【章吹に向かう力、人間性等】 意欲的に計彙の意味を辞書で調べよ うとする。	・随筆の文章構造を理解させる。 作練製・感想・思考」の構造か 5、業者の個人的な経験から何を 感じたのかを考えさせ、ロイロ ノートで生徒同士で意見を交流す る。		0	0	0	6
学期				0	0		2
901	(演習 (小説) [対策及び (対策) (・小説の抽象的な表現と、評論なの良体的な実現の読み化で体感する。との表現が対応しているのかを言葉の意味を考えながら気づかせていく。辞書を何度も使用させていく。任意を一般にあるものなので理解しつなげさせる。 歴史について 恋愛についても、東近にあるものなので理解しやすい趣好だが、それらが作品の中で抽象的に書かれるところで、「言い機え」表現を見つけられる。	【知識及び技能】 難論句や外来部に関する知識をつけ、他の言 葉に言い換えている。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の情景描写の表現をもとに、登場人物の 感情を予想している。 【学びに向かう力、人間性等】 グループになって振り返りをしている。	0	0	0	16
	定期考査			0	0		2
2	A 演習 (評論) 【知識及び校館】 文法の基礎知識を簡まえて、入試に 対応できる影響力を身につける。 【思考力、判断力等】 作者の考えの真意を話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 意飲的に設備の意味を辞書で調べよ うとする。	・カタカナ語 (作品、それ)をの勤奮を 見受けられる性。 それ)をの動態を 理解すると同時に、受験でも本文、 に採用されている言葉をさせる。 ・支々)職の書きせる。な文と に対している言葉を書きな後では、 ・支の、関係性を学習させる。な文と に対している。 にがしている。 にがしいる。 にがしいる	【知識及で技能】 交法の基礎財を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 (化者の考えの真意を話し合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に語彙の意味を辞書で調べようとしている。	0	0	0	13
学期				0	0		2
	B 演習 (評論) 【記述式】 【知識及び技能】 文法の基礎知識を踏まえて、入試に 対応できる読解力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】	に、筆者の主張を整理する術を身 に付けさせる。また、形式段落に 見出しを書く習慣を身に付けさせ る。 ・文章中から「民族」を3つのカ テゴリーに分けさせ、それぞれの	知識及び技能]	0	0	0	16
	定期考査			0	0		2
3	大学入試問題演習 自己採点する際に注意することを確 認する。	共通テスト、私大過去問題、模擬 テストなどを利用して演習を行 う。現代文単語デキストを参照し て、知識を再確認する。	大学入試に対して、自己採点する際に注意することを確認している。				10
3 学期							
							合計 76

 国語
 科目
 古文演習

 単位数:
 3
 保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

 教 科:
 国語
 科 目:

 対象学年組:
 第 3 学年 1 組~ 8 組
 科 目: 古文演習

使用教科書: (探求 古典探求 古文編 桐原書店

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】<mark>今まで学習した古典の基礎を踏まえ、より質の高い古文を読み、文学としてのおもしろさを味わう。</mark>

【思考力、判断力、表現力等】<mark>主に古文の大学入試問題演習に取り組み、受験を意識した総合力を養成する。</mark>

【学びに向かう力、人間性等】<mark>その時代の生活や思想への認識を深めると同時に、進学に対応できる学力を身につける。</mark>

科目 古文演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
今まで学習した古典の基礎を踏まえ、より質の		その時代の生活や思想への認識を深めると同時
高い古文を読み、文学としてのおもしろさを味	識した総合力を養成する。	に、進学に対応できる学力を身につける。
わう。		

	W = - = 1 // / / /	1677777	領域					_	44-	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話·聞	書	読	評価規準	知	忠	態	時数
	A随筆 【知識及び技能】敬語表現、助動詞などの文法力、語彙力を高め、入試に対応できる読解力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の発言の真意を話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 二人一組になって音読し、口語訳を	枕草子 敬語表現、助動詞などの文法力、語彙力を高め、入試に対応できる説解力を身につける。登場人物の状況を説明し、ロイロノートに提出する。他の生徒と意見交換をする。	0	0	0		0	0	0	7
	B 日記 【知識及び技能】 文法の基礎知識を踏まえる。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に人物関係や内容を把握する力 を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】	和泉式部日記 文法の基礎知識を 踏まえて、的確に人物関係や内容を 把握する力を身につける。敬語の有 無・種類によって、主体・客体を捉 える。	0	0	0		0	0	0	8
1	特殊な日記の形態を理解する。 定期考査・答案返却						0	0		2
学期	C 単元 歴史物語 【知識及び技能】 敬語表現を手掛かりに動作の主体 を判断する。 【思考力、判断力、表現力等】 敬語表現を手掛かりに動作の主体を 判断する。	大鏡 雨林院の菩提講 歴 史物語の特色を理解する。他の歴史 物語との違いを理解する。	0	0	0			0	0	8
	【学びに向かう力、人間性等】複雑D 歴史物語・物語【知識及び技能】藤原氏時代の特色を調べる。【思考力、判断力、表現力等】系図を作成し、プリントにして提出する。 【学びに向かう力、人間性等】伊周の描かれ方の違いに注目する。	大鏡 道長と伊周の競射 枕草子と同時代であることに注意し、伊周の描かれ方の違いを生徒同士で意見交換する。 源氏物語 桐壺	0	0	0		0	0	0	8
	定期考査・答案返却						0	0		2
	物語 【知識及び技能】重要古語の 再確認をする。 【思考力、判断力、表現力等】 後宮の仕組みなどを踏まえたうえで 更衣の立場を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】平安 時代の物語の集大成であることを意	源氏物語 桐壺、若紫 光源氏の生涯、「源氏物語」の全容 を理解する。	0	0	0			1		15
2	定期考査・答案返却									2
学期	評論 【知識及び技能】和歌の修辞・俳句の決まり 和歌の歴史 【思考力、判断力、表現力等】 和歌、俳句に込められた心情を理解 する。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌・俳句を鑑賞した文章を読解す	歌論・俳諧 無明抄 後頼 短脳 去来抄 和歌の修辞・歌論と俳句の決まりを 理解する。	0	0	0					16
	ることで、作者の意図と読者の受け 取り方の違いを理解する。									
	定期考査・答案返却									2
3	大学入試問題演習 自己採点する 際に注意することを確認する。	共通テスト、私大過去問題、模擬デストなどを利用して演習を行う。古 文単語テキスト、古典文法演習ノー トを参照して、知識を再確認する。								35
学期										合計 105

別ルンが未切に泊用するパと取り。						
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
新聞館を設定して関射 新聞館を受ける。 することと、タッテメクッドを目 財士 【知識及び技能 用版について理 能があるが、物所力、表現力等)は 医点を確まえ、適切に判断出来でいるか、 でのか、でのか、でのか、でのか、でのか、でのか、でのか、でのか、でのか、でのでしまった。 しようとしているか。	・ 機・整・サータイピングソフト ・ ガリエンデーションを替まる。 ・ ガリエンデーションを替まる。 ・ 一人1台端末の店用 情報モラル 等	THE WAS WELL WITH METALON WORKS	0	0	0	4
第2節 情報社会の法則と維利を 類解することをタッテメフッドを 日指す。 日間で、日本のでは、 日間で 日で、 日で、 日で、 日で、 日で、 日で、 日で、 日で、	・指導事項 ・技術 ・技術 ・一人 白海線末の活用 情報モラル等	【主体的に学習に取り組む態度】・社会の中の情報システムについて、興味や間心をもっ		0	0	5
第3節 情報社会が築く新しい社会について選挙することと、タッナル国際が大阪と 用語について理 「大加国」が成立 目前語について理 「基等力、判断力、要取力等」に 「基等力、判断力、要取力等」に 「基本を考え、適切に判断し、活用 力、人間性等」もので動しつい で振り返り、改善しようとしてい るか。	- 指揮事項 - 教材 教科書・タイピングソフト - 人人 台端末の活用 情報モラル等	「知識・技能」・15千人工知能などの情報 技術が社会の問題解析に従ひことを理解 「記事・制率・実現」・29ヶ月に、2005年 「記事・制率・実現」・29ヶ月に、2005年 「日本学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学	0	0	0	5
	 指導事項 ・粉は 粉私急・タイピングソフ 	【知識・技能】・ソフトウェアの種類とその 働きを理解」でいる ・ハードウェア 08	0	0		1
新 1 前時之ンペンの物気を増集 市してとと、クラインッドを 1 加騰及び抹殻 川路について理 (1 知識及び抹殻 川路について理 (1 思考)、判断力、美規力等計 該点を考え、選切に判断し、活用 出業でいるか。力、人間性等1 自 1 の行動について類り受り、炎害 しようとしているか。	・敬材 歌作者・ダイモンクラクトー人1 台端末の活用 情報モラル等		0	0	0	4
第2節 情報のデジタル化を理解 することとタッチソットを目指 「知識な好は利用店へいて理解があるか。 に思考か、判断力、表記力等」は ほぶをそれ、選挙に判断し、活用 到来でいるか。「学びに向かう力、人間性等」自らの行動につい なが、数等しようとしてい るか。	・指導事項 ・銀材 数料書・タイピングソフ ・一人2台編末の活用 情報モラル等	ンタル化について、より深く理解しようとしている		0	0	4
WORD, Excel, Poracepointを開解することをウッチェメットを 開解することをウッチェメットを 「出物最近対象」用語について理解があるか。 【思考力、開始力、表現力等】は 意点を考え、適切に判断し、活用 力、人間性等】自らの行動につい で振り返り、改善しようとしてい るか、	・指導事項 ・教材 教科書・タイピングソフ - 人名台編末の活用 情報モラル等	きる。	0	0	0	2
定期考查			0			1
第3章 システムとデジタル化 第1節情報 システムの構成を理解 すって、とと、タッチメフッドを目 竹も底及び映画 用断について理 解があるか、 制度があるか、 制度があるが、 制度が、 は選考や、 が、 の、 の、 の、 では、 では、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	・指導事項 ・数材 数付書・タイピングソフト・ ・一人 4 台端末の活用 情報モラル等	【思考・判断・表現】簡単なアルゴリズムを 文章やフローチャートなどの図で表現でき る。		0	0	5
第3章 ペステムとデジケル化 第1前階等システムの構成を選解 前3 0 5 1 とと、タッテメンの構成を選解 所数の大型の構成を選解 に関係している。 1 2 年の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の	・指導率項 ・板付 数科書・タイピングソフト ト ・一人 5 台端末の活用 等	意味を理解している。 【思考・判断・表現】簡単なアルゴリズムを 文章やフローチャートなどの図で表現でき る。		0	0	3
第3章 システムとデジタル化 第1節権報システムの構成を理解 することと、タッチメンッドを目 対す。 東京の大きなは他別用版について理 時があるか、世界力、判断力、 東現力等。 は歴を考え、連切し がは向からか、は関係し、 がは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	・指導事項 ・教材 ・一人 6 台端末の活用 等	意味を理解している。 【思考・判断・表現】簡単なアルゴリズムを 文章やフローチャートなどの図で表現でき る。	0	0	0	1 合計
	□ ●	一春 横葉社会と私たち 一春 指導事項 カータ 1	日本学 日本	正明	■ 書 報知的などになった。	本書

地理に関わる諸事情に関して世界文化の多様性 の理解に基づく多文化典生社会、防災や地域 問題かの取り組みを具体的な事例で理解し、地 相互依存開係、空間的相互依存限係、地域など 様々な課題を主体的に追求し解決しようとする 形図などの地図や地理情報システムなどを用い、に で、調査や諸資料から地理に関する様々な情報 そして、地理的な課題に向けて希想しその成果としてきる。 そして、地理的な課題に向けて希想しその成果 を適切かつ効果的に調べてまとめることができ る。	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	の理解に基づく多文化共生社会、防災や地球的 課題への取り組みを具体的な事例で理解し、地 形図などの地図や地理情報システムなどを用い て、調査や諸資料から地理に関する様々な情報 を適切かつ効果的に調べてまとめることができ	関連を、一夜分布、場所、人間と自然環境との 相互依存関係、空間的相互依存関係、地域など に着目して、」多角的に考察できる。 そして、地理的な課題に向けて着想しその成果 を切飯議論できる察、構想したことを効果的に	成者として、よりよい社会の実現を目指し、 様々な課題を主体的に追求し解決しようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	一般味上の位置を表すために緯度・経度 度が定められ、地軸の傾尾・よる季 前変化と時差の存在を理解し、諸外 国の生活を拠度できる。 様々な地図の図法の特徴を知識図に表 で身につけ、球面を平面の図法の表 である。 理解・交通・通信の発達によるが ローバル化を現解する。 類目間について等える。 間のとは、モノ・カネ・情報の移動 で程度間の結びつき、国際機関の 変を発生地形と人々の生活について気 を検に出形と人々の生活について気 を検に出形と人々の生活について気 解する。	および第2部第1章2節世界の気 候と人々の生活から ケッペンの気候区分まで 【教材】	「知識、技能」 定期考査 【思参、判断・表現】 定期考査 授業での質問に対する返答や発言 【主体的に学習に取り組む機度】 授業態度 ブリントへの取り組みと提出	0	0	0	16
1 学	中間考査 答案指導	これまでの学習成果をはかる。		0	0		2
邦	世界の人々の特色ある生活文化とその地理的原度との関連性について学 び文化の多様性を理解する。 日本と世界の言語・宗教・食生活等 異なる多様な文化を持つ諸氏族について学び、多角的・多面的理解を目 指す。 歴史的 育景・冷戦時代の体制が世界の生活 に与えた影響について多角的・多面 的に学習し、現代社会への影響についても考察する。	宗教と人々の生活から第4節歴史 的背景と人々の生活まで 【教材】 教科書、教科書を基にしたスライ ドショーと作成した授業プリン	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 授業での質問に対する返答や発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度 ブリントへの取り組みと提出	0	0	0	18
	期末考查答案指導	これまでの学習成果をはかる。		0	0		2
	自然的影響・産業の発展が人々の生活に与えてきた影響を学習する。 協に与えてきた影響を学習する。 産業や発展とグローバル化が人々や そ人々がくらす各地域や国々に与え た影響を学習する。	【指導事項】 第2部第1章5節 世界の産業と 人々の生活 【教材】 数科書、数科書を基にしたスライ ドショーと作成した授業プリン ト、地図帳	【知識・技能】 定期考益 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 定期考益 【実施的に学習に取り組む態度】 授業・態度 ブリントへの取り組みと提出	0	0	0	18
2 学期		これまでの学習成果をはかる。		0	0		2
	連邦的東坡問題、森瀬やエネルギー 東級・大口、食糧問題など世界各国 共通する傾向や相互関連について学 省し、理解をはかる。	指導事項] 第2 部第2 産 地球的課題と国際 第2 部第2 産 地球的課題と国際 第2 新日本の 数科書・数科書を基にしたスライ ドショーと作成した授業プリント、 地図帳	(小頭・技能) 定期等差 (思考・判断・表現] 定期等差 長葉での質問に対する返客や発言 (主体的に学習に取り組む態度) 技業態度 フリントへの取り組みと提出	0	0	0	10
	期末考査 答案指導	これまでの学習成果をはかる		0	0		2
3 学期		【指導事項】 電3 部第 1 章および第 2 章 持続可能な地域づくりと私たら 1数材】 数科書、数科書を基にしたスライドショーと作成した授業ブリント、地図帳	【知識・技能】 定期考查 【思考・判断・表現】 定期考查 授業での質問に対する返客や発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度 ブリントへの取り組みと提出	0	0	0	00
1	Ш	I	I	I	l	l	合計 78

	TOTAL TOTAL TOTAL (1994) OF SERVICE AND SE								
١	和日 日本史演習 (内集をの改成) 日本の哲学に知り、経費業につい、 的参析や研索の研究と関連つけなが 的によりえて複数とているよともに 能から日本の哲学と関すら様々など				_	\$ 5 5 5 \$ 5 5 5 (4)	ie s		
	第一条の場合では、中華の大学のでは、 ・ 1000年の日本のでは、中華の大学のでは、 ・ 1000年の日本のでは、中華の大学のでは、 ・ 1000年の日本のでは、 ・ 1000	上の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	See Bernard St. 1997.	10年 日	and a	曹をある。 「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「曹をある」 「「「曹をある」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	A 大学		
	北京日本 田川 : 南京本初の単位 [14歳以下均立 - 南町 - 南京の前の町の町と、江西一	[「山田・校園」 は一番から成立から川田工化までの変革的か 山田・佐藤田に立って、また。 間報やを持つ校 田田・佐藤田に立って、また。 間報やを持つ校 日本のからの記り物をを表して、有着を作 し、それを表現している。 「田田・校園」 「田田・校園」 ・ 第9、 田田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村田・村	0	0				
	- Bank of the control	TOURING (INTERPRETATION OF THE PROPERTY OF THE	Section 1 - Sectio	0	0	0			
	第四、日本のの付付・ 「中国の 1998」 197 で 7回記 「中国の 1998」 197 で 7回記 「中国の 1998」 197 で 7回記 「中国の 1998」 1998 で 19	(別年間日) 「田田の東京の町 「田田の東京の町 「田田の東京の町 「田田の東京の町 ・田本の東京 ・田本の東京 ・田本の東京 「中の日本の町 「中の日本の田 「中の日本 「中の日 「中の日 「中の日本 「中の日 「中の日 「中の日本 「中の日 「中の日 「中の日本 「中の日本 「中の日 「中の	をおく自然の対象である。 のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	0	0	0			
	The second secon	Transport		0	0	0			
	The content of the co	の自然性の研究・AN EC 日本で、一般ではならら ・ 日本ではなら ・ 日本ではない。 「日本ではない。 「日本ではない。」 「日本ではない。 「日本ではない。 「日本ではない。」 「日本ではない。 「日本ではない。」 「日本ではない。」 「日本ではない。 「日本ではない。」 「日本ではない。 「日本ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	SCHOOL SERVICE STREET,	0	0	0			
	光明考查		【知識・問題】 初回的ペール室外代までの意志的りが報を他 関している。 海貨物を扱う問題を会立つかて いる。 「ある・回路・単語】 選択的から必要な情報を担されて不容を行 し、それを開発している。	0	0				
	The Cold No. 100 Acres to the Cold Cold Cold Cold Cold Cold Cold Cold	Control (Control (Con	Comment of the commen	0	0	0	N N		
	THE CONTROL OF THE PARTY OF THE	「中華 年間」 の名の名は の中のの日本 (3年) 「日本 「中華 「日本	The Action of the Property of the Control of the Co	0	0	0			
	定期考查		【知識・技術】 関係の関係した。正常用品を開発する意志的 な知識を開催している。関係的を持つ回路を またのけている。 まのも、対象・表情 最終からるななな情報を含まれて可能を行 し、それを展開している。	0	0				
	The state of the s	【資産会員】 「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	The state of the s	0	0	0			
	(1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	(地域を) の資金の場合である。 の資金の場合である。 「日本である。 日本である。 日本である。 「日本である。 日本で	COMP. 100 J. COMP.	0	0	0			

【知識・投資】 二月級別人相談から現代までの意志的 総を透解している。副資料を使う投資を かけている。 【元者・別路・京母】 選挙から、ご思い間様を使き戻して考察 いくれるを提出している。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事	
事象について、地理的条件や日本の歴史と関		事象について、よりよい社会の実現を視野に
連づけながら理解するとともに、膳資料から	推移、比較、相互の関連や現代世界とのつな	課題を主体的に探究しようとする態度を養う
世界の歴史に関するさまざまな情報を適切か	がりなどに着目して、概念などを活用して多	とともに、多面的・多角的な考察や深い理解
つ効果的に調べまとめる技能を身につけるよ	面的・多角的に考察したり、歴史に見られる	
うにする。	課題を把握し解決を視野に入れて構想したり	
		化を尊重することの大切さについての自覚な
	明したり、それらを基に議論したりする力を	どを深める。

F			に議論したりする力を どを深める。		-	_	粉帛
	■北の保存が高着目標 に加入で指定 に加入では に加入では に加入では に加入では に加入では となっている。 となっている。 となっている。 をはないまったのけんでは、また。 では毎年となっている。 をはまったのけんでは、また。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 にあった。 におった。 にない。 にあった。 におった。 にあった。 にあった。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 には、 にない。 にな、 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にな	新導項目・内容 旧事書前 一体化していた世界への問いを、 地域の高から、実容を認か解え、 あたついて考察し、間いを表現さ もは整 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	神臓を行程と 成本で音楽を、 国民・対する事となかったが なるで音楽を、 日本・する事となかったが なるできます。 できる。 できる。 できる。 ないた。 音楽といるのかないで見 はしている。 音楽とをが確立いないでき は、 一般を表示がある。 できる。 に、 一般を表示が確立いてきませい。 に、 一般を表示が確立いてきませい。 に、 一般を表示が確立いています。 は、 一般を表示が確立いています。 は、 一般を表示が確立いています。 に、 一般を表示が確立いています。 に、 一般を表示が確立いています。 に、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ、 これ	0		0	16
	原業条件で先行したイギリスが19世 上記に自体機のリーロッパ報告はとう に対し、機能のリーロッパ報告はとう に対し、機能のリーロッパ報告はとう エタレースを表したのはこかに理解 リースを表したのはこかに理解 リースを表したのはこかに理解 リースを表したのは、128月 上記のウーマビニットでの運貨を発き 機能には、128月 内側性性を表した。 は、128月 内側性性を表した。 は、128月 内側性性を表した。 は、128月 内側性性を表した。 は、128月 内側性性を表現を表現を をは、128月 内側性性を表現を は、128月 内側性性を表現を は、128月 内側性性を表現を があるこれに多数である。 128月 内側性性を表現を があるこれに多数である。 128月 内側性性を表現を からして課題と実現を	【指生学用】 当18年 賞賞本主義の仕事への変及 と成果社会 と成果社会 2 両アジアの危機と改革のは 1 2 両アジアの危機と改革のは 1 2 両アジアの危機との革のは 1 2 両アジア・電荷アジアの線尺 2 両アン・電争 1 2 両ア・コール 1 3 両ア・コール 1	・	0	0	0	10
1	中間考查答案指導		【知識・技能】 校業中に扱った基本的な知識を理解してい る。諸質料を扱う技能を身につけている。 「思考・判断・表現】 諸質料をもどに思考力を働かせて判断・考察 し、その結果を避知に表現している。 【知識・技能】 アンア諸国部自信の永橋をどのとうに認識	0	0		2
学期	「映真及好報」 アンア議員が自日の危機をどのよう。 アンア議員が自日の危機をどのよう。 アンア議員が自日の危機をどのよう。 では、日本のないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	【指導字項】 第16章 第4 第16章 第4 第一次の子・中央アジアの安本 3 第7ジア・実施アジアの民族 4 第一次の民族 4 第一次の民族 5 2 1 数サー人一台端末の活用 第一次の子・実施のデリー 第一次の子・大学のアント・両郷の長、 第一次の子・大学のアント・両郷の長、 第一次の子・大学のアント・一大学のアント・ 第一次の子・アント・ 第一次の子・アント・ 第一次の子・アント・ 第一次の子・アント・ 第一次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子・アント・ 第二次の子 第二次の子 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次	し、飲食労働と対象しながらいなは食をすずからのは、また、飲売労働に対象したものがいついてフラカなどに感知しようとしたのかだついったかった。 一般などは、また、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは	0	0	0	10
	第一次世界大戦は、なぜ「世界大 戦」と上ばれ、それまでの戦争とど のような点において異なるのか、そ して、それぞれの地域において戦争 の経験はどのような意味をもったの かなどについて理解する。諸資料の ら様々な情報を適切かつ効果的に調 ベミトめる大陸を身がつける。	【前標事項】 第二度一定排析機 第二度一定排析機 2 ダニヤヤー保険と国際秩序 が解 3 大機線のアリタカ電源と 1 リン・イン・アフリカでの国家形 のと 2 インジ・アフリカでの国家形 のと 2 世界・エーレーの選手の のと 2 世界・エーレーの 2 世界 - エーレーの 2 世界・エーレーの 2 世界・エーの 2 世界・エーレーの 2 世界・エー 2 世界・	している。 「田田・田田 は 日本 は	0	0	0	14
	「映画及び技術」 使用を開え、接続や物面とどのよう 変形を構立し、接続や物面とどのよう に変化を含化のから、また。でのなか。 このきまったける第二本世界大利的である。 は、機能の関係が開催したのである。 物がも、異常れらり様々と位間は多い。 「思考か、、、、物が、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	日本年前1 前18章 第18章 2 日前を機と政治・経済の変多 2 日前を譲渡があり 3 第二次性がの動詞 2 日前とは 1数年 2 日前とは 1数年 2 日前と 1数年 2 日前と 1数年 2 日前と 10年 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前	事業の報告といよりに変をす なたのか。また、かつかないではしまります。 ないましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	0	0	0	14
2 学期	が称ると、単立のよい行政の対象を に加速な研究を 用に変化を表大学やのアンドの機能 第二次世界大学やのアンドの機能 多と実際のアンドの機能は、差して カータムのは一般を からからなのが連続し、あらいは美しって からからなのが連続し、あらいは美しって と表のアンドルールの指数を は、一般では、 は、 とのでは、	【指書字明】 第19章 第19章 第27・大平洋戦争と日本の 数と2 他回の解析と分階的窓が最近に 2 他回り報と2 他回り返こを機能的 近に 4 解解戦争と東アジアの「洛 電】 「表対・一人一台編本の店別 出や有識却よび解り返りには一人 一台編本でロイロノートを活用	日間 - 18型 -	0	0	0	12
	中間考査 答案指導		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解してい る。路資料を投り技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察	0	0		2
	「知識及び技術」 一条戦のあるで、世界の単純はかった 一条戦のあるで、世界の単純はかった 一条戦のは、大きなは、一条はは、 全球とは、大きなは、大きなは、 をは、大きなは、大きなは、 をは、大きなは、大きなは、 をは、大きなは、 をは、大きなは、 なり、大きなは、 なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、な	【推導事項】・いのと聴落などに 起源かりが日本を採用し、無速能器 の実施を設力を収益について理 解させる。 1 かと 変か・経済を称(最近と)・アクリカ液固の後立 こ 参りファ・アクリカ液固の後立 こ 参りファ・アクリカ液固の後立 こ 参りファ・アクリカ液固の後立 と 数十一人一台端本の応用! 数件表、技術プラント、運搬のか 配付を対象が表が表があり返りには一人 一台端末でロイロノートを抵用	し、その基準機能に関係している。 「機能・発出・発力を対している」とは認識を があれる。また、特殊に関係している。 をしている。また、特殊に関係している。 よれている時間についる。当時から たのまでいて関係している。当時から に関係している。当時から に関係している。 に	0	0	0	14
	福田及上が特別 物能の実施でよなか、アメリカ会 地面の技術を開催していまりた動し、 を表していまれた。そのでは、 のカロールのとは、形で、 のカロールのとは、形で、 がありません。 がありません。 には、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	【指導専項】 第21章 ソリカ合衆国の顧機の動揺 を構め支管とは他の変形とは最の直接 を構め支管とは他の変形とは他の通知を は、アリカのを発展したのでのである。 は、アリカのでは、アリカのでは は、アリカのではないのではないのではないのではないのではなりではないのではないのではないのではなりではなりではないのではなりではないのではなりではなりではないのではなりではなりではないのではないので	1888 - 1882 - 1883 -	0	0	0	14
	期本考查 答案指導		【知識・技能】 教業中に扱った基本的な知識を理解してい る。諸質料を使う技能を身につけている。 [29条 平断、表現] 諸質料をもとに見考力を働かせて判断・考察 し、その基準を選択に表現している。 [知識・技能]	0	0		2
3	【知識及び技術】 は整定したり、地球上ではどのよう な機能とはどのよう。 を機能とはどのよう ともそ気限したりませんを気能したり を機能と値が、大きれる気能とも を動けれる場合を必要がある。 を対し、関大・物質を は、一般であるが、 は、一般である情報を は、一般である情報を は、一般である情報を は、一般である情報を は、一般である情報を は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、な管等で表現する。 は、などので、 を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	【指導事項】 第22章 10章 20章 20章 20章 20章 20章 20章 20章 20章 20章 2	など、人を報告会社とのような機能に直動していませた。 を記し、高数時から物々とは作物のはいませた。 解している。高数時から物々な情報会構図から を認めて、一般である情報を必ずいませた。 「記多り、別様・大規一のでは、大変等で表現している。 ので、一般では、大変等で表現している。 いる。 に、多り、は、大変等で表現している。 に、またり、は、大変等で表現している。 に、またり、は、大変等で表現している。 に、またり、は、大変等で表現している。 に、またり、は、大変等で表現している。 に、より、は、大変等で表を材料として、よりと、は、大変を表現をある。 は、おり、大変をは、またし、またし、ようとしている。 に、よりと、は、大変を表現をある。 は、またり、は、大変をは、またし、またし、またし、またし、また。 に、これり、は、大変を表現をある。 は、またり、は、またり、と、これに、またし、またし、またし、またり、またし、またり、またし、またし、またし、またし、またし、またし、またし、またし、またし、またし	0	0	0	12
学期	知識及び採制 当事を投資ので割を整に、持続可能 が出るの実現を視野に入れ、開発を 放生をの実現を視野に入れ、開発を のは、指導は世界の実施を提供して に、地球は世界の実施を通常を は、地球は世界の実施を必須 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 にのける。 を動能について多様である。 を動能について多様である。 を動能について多様のと動物にある。 はについて多様のと動物にある。 はについて多様のと動物にある。 はについて多様のと動物にある。 はについて多様のから動物にある。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのける。 をあるとして、 にのは、 をあるとして、 をあるとして、 にのは、 をあるとして、 をあるとして、 にのは、 をあるとして、 にのは、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をあるとして、 をなるとして、 をなると をなると、 をなると をなる。 をなる。 をなると、 をなると、 をなる。	【指導事項】 口能をか過減器と世界史 生界支配をの総合問題所習 【参好・一人一台端本の所】 動材表、残悪プット、調整のサート 開発のでは一人一台端末でロイロノートを活用	1888 - 「1882」 (1885年 大衛と衛星の間隔線 原形の度、単元は東大衛と衛星の回路線 体部の成立、成後、日本の左側をピアット で、東京中が高端を開催している。関連が を打撃を受けます。 と対象を使けます。 に対象を対象が、大震や実施して参加 が、条件が、発展を整めり撤出ってを増 に、変を整めり撤出ってを増 に、変を整めり撤出ってを増 に、変を整めり撤出ってを増 に、変を整めり撤出ってが に、変を整めり撤出ってき に、変ををかけませます。 に、変ををかけませます。 に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかり撤出ってき に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりかました。 に、変ををかりが、と、変ををかりが、と、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、変をが、なり、なり、変をが、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、	0	0	0	14
	学年末考查 答案指導		【知識・技能】 教業中に扱った基本的な知識を理解してい る。諸資料を扱う技能を身につけている。 1回参・判断・実現】 諸資料をもとに関考力を働かせて判断・考察 し、その結果を確切に表現している。	0	0		2
٢	1	<u> </u>	し、その結果を適切に表現している。				合計

			ての在り方生き方に	ついての	の自覚を	深める	0
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単点 自己的能と自己の生き方 加速度、好味動 、	- 指導等項 ・表材 - 一人1 台端末の活用 等	「知識」実施計画、未続とどの自して、 機能、感能、支援を対して、自然であれての思索を向い の生きら自己の生き方についての思索を向い の生きら自己の生き方についての思索を向い のかして、 のかして、 のもの生まが、 のものもの、 のものもの、 のもの、 のもの、 のもの、 のもの、 のもの	0	0	0	12
1 学期	■ 単一人間としてのあり方を ・ 一点を表しています。	- 指揮が 	「知識・技能」 が出来るというでは、 があった。 がある。 があった。 があった。 があった。 があった。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がる。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 が。 がある。 がある。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 が	0	0	0	12
	定期考査 A 単元 社会・世界と人間として のあり方生き方	 指導事項 教材 	【知識·技能】	0	0		1
2 学期	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・一人1台端末の店用 等	「無論・技能」 ・ 学術。美徳などに書目まて、人間としている。 ・ 学術。美徳などに書目まて、人間としている。 からなる意味を力と複雑でいるであります。 からなるを表している。 からなるを表している。 のもなる意味となります。 あましている。 ののは、人生における宗教や書師のものなる。 ののは、人生における宗教や書師のもので思います。 では、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	0	0	0	12
AN .	■ 展示 回原性会に生きるという。 は、できない。	・指導等項 ・数材 ・一人1 台端末の店用 等	知識、共産別 の心情と考え方や日本の先哲 の思想に着して、復ぶ部の場とや伝統、多 の主要と思から変かとなる。、関節性会と、の表 を表したのなから、、の表 のよれ、、関節性会と、、の表 のよれ、に関節のよりに関 のよれ、に関 のよれ、に関 のない。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた	0	0	0	12
	定期考査 A.単元 自然や科学技術にかかわ	·指導事項	[知識·技術]	0	0		1
3 学	○清晰観と情報 「加減及び強み」に、コンセントや 「加減及び強み」に、コンセントを 50%、安康と、卑疑などを合義性さ に関する用語・の表をを解析させ、 5、代理性度や観察移植、列ンム国の 考えをまからなもの。 表の表で、 第4、日本の大学の 10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、1	・教材・・一人1 台端末の活用 等	1年度・大学型 / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	4
	国 単文 社会と文化にかかれる語 製造・価値を担い。 1、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 指導等項 - 改材 - 一人1 台端末の店用 等	「知識、大後日」 ・編集、文化と示義、平和などについて像建 の問題を見たいでは、たらか素というではませい。 の問題を見たいでは、たらか素というではませい。 の表のは、一般では、一般では、一般では、 に、自分の表えを助り、減せしている。 ・編集、文化と示し、その本体に対しての選ば、 のが異なるを、中心とし、一般である。 ・編集、文化と示し、その本体に対しての選ば、 の情報を、見いだし、となる。 ・の情報を、現まいましている。 ・の情報を、現まいましている。 ・の情報を、現まいましている。 ・の情報を、現まいましている。 ・の情報を、またいましている。 ・の情報を、またいましている。 ・の情報を、またいない。 ・の情報にある。 ・のものは、	0	0	0	4 合計 58

REMORAN SOURCE (MANAGE SERVICE SERVICE

	調整の 国家及び社会の参加を はいる 対象の では、 はいる はいましたのである。 はいる はいましたのである。 はいる はいましたのである。 はいましたが、 はいまいまなが、 はいまながなが、 はいまながなが、 は	が、東京力等) 「学りに対しています。 とりよいを発生である。 とりませません とうのでは、対しています。 とうのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	対決的さをが知る のし、れ受器成自	のとの国を国よど	美名考主平社機関 社団保険和会務の 保度やをとに的る	を保護をおび ・
単文の異体的な指導目標 A 市文 同土政治の基本原理 [知識及び行政]	指導項目・内容 ・指導手可 ・表対	評価標準 [知識・技術] ・政治と協の意義と構造、基金的人権の保険	53	8	18	95-85
第二人の大学の大学の「日本日本」 ・ 「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」	·一人1企需求心情用 等	1998年 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	٥	0	0	6
「	- 企理事項	Time 1987 A STATE OF THE STATE	0	0	0	31
「中国の日本の対象の機構 「本面の日本の対象の機構 「本面の日本の対象の機構 「本面の日本の構造」という主義。 「本面の日本の構造」という主義。 「本面の日本の構造」という主義。 「大田の中国の日本の情報となった。 「大田の中国の日本の情報となった。 「本の日本の日本の情報となった。 「本の日本の日本の情報となった。 「本の日本の情報となった。 「本の日本の情報となった。 「本の日本の情報となった。 「本の日本の情報となった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報をはなった。」 「本の日本の情報となった。」	・ 公司参与 ・ 一人 1 企業 ぶんぱ 用 等	1889、日間の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	0	0	0	30
・ 日本の 一般では、	- 他競爭電	「日本」に関する。 東京は19年2年 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	0	0	0	26
定期考室	- 6849	[168 - 159]	0	0		1
単名 国際中心交易 中級第17年20 中級第17年20 ・経済開発につい、関係性力 ・経済開発に対する情報 は、関係性力が信頼 は、現場の構造に対する情報 を考け付けるもの ・日本のもの情報 を考け付けるもの ・日本のもの情報 に、関係を必必 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 国際をかが成立して、 ・ 日本のものを表現されて、 ・ 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現されて、 日本のものを表現を表現されて、 日本のものを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	- 意識學項 	1888 - 1882年 - 1883年	۰	0	0	36
第二章 東京田田町のしてか 「東京田町の一」 「東京田町の一 「東京田町の一」 「東京田町の一 「東京	- 信義等度 	1988 日本	0	0	0	30
・東京 男性の妻子の妻が出かれた。 は他の女子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子の妻子	- 高額手車 - 高額手車 - 一人 1 が確 Kの信用 等	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	0	0	24
を登る。 また、	- 福祉報報 - 一人人上的報配/他們 等	10年、日本学生の大学のでは、日本学生の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	0	0	0	20
The Americans and Control of the Con	・企画を定 ・・・人 1 企機 私の信用 写	1 日本 14日 日本	0	0	0	30
※ 不定 現代日本お上び回答社会 の認識器の研究 (知識及び投資) 、同代における政治・経済の認識 起こついて、必要な血量を背合 せる。 、現代における政治・経済の認識 細こついて、必要な血量を収集 したがなる。	・ 位通学等 ・ 影射 ・ 一人 1 企業を心信用 等	Lamber and the control of the contro	0	0	0	9
Control of the contro		品に向けて適か合からの面。 特別でから間 地域に向いてからいました。 では、そのでは、 のは、そのでは、では、では、では、 では、これでは、では、では、 は、これでは、では、では、 は、これでは、では、 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、				

科目 数学室 【知識及び手 検察、個外法及が技力点について 体系的に増減するとともに、事業 的に解析したり、数学的に表現 身に付けるようにする。	の目標:		・物金の配送の中間の事業の問題を認識に指的の決勝 の場合とする情報を対象を対象を対象を は、一般を対象を対象を対象を のでは、一般を のでは、	かう力、	人間性	H)	194 ML1 T48
展文の真相的の指摘 第1年 第2 第2年 第2年 第2年 1年	1145	MAZII - PAB	PRESENT OF THE PRESEN	50		8	克洛
2	の報源につ 4、開業の利用的では、 連続性につ 3、開業の利用的では、 ありを報から、これ開発 うにする。 7、開業の利			•	0	•	TI TI
で変する の ま 単一の 型 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・ 本本の ・ 本の ・ 本 ・ も ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本	10 公司 10 公司	The state of the s	•	0	•	1 11
Tax Reports STORY TO THE TAX	第2章 いろ 5. 万在点。 6. 確定と3 7. 近日点	第一位日 中の日 中の日 中の日 中の日 中の日 中の日 日 日 日 日 日 日 日	The second of the control of the con	*	0	•	18
THE STATE OF THE S	規、高級の 6、定機分の し、またや さりに指が 第2級 種) で、前機 ※ 在機 の、連のか 1 の、高級の	The second secon		•	0	•	-1
定場方金 数字面またの一同総成市 数字面またの一同総成市 数字面 地級 数字面 他の体の心用 数字面 他の体の心用 数字面 機や体とその心用	- 取計書。1 - 後点物。1	(経典、端本化市 トアスト	「新築・技術」 ・ 一般の表現の使か終してハイでの概念や水田・出 が、既然の表現で使か終して、参与を指定した。 が、性にあるに関係するときなど、参与を指定した。 ・ できる。 ・ できる。	0	0	0	
定期方金 電子面上とか・同期実施 日本 単語 日本 単語 日本 単語 日本 単 概令 協の 定用 国本 単 概令 協の 定用 国本 単 概令 協の で用	- 衛科療、1	「被象、端本利用 テアスト	すれのに空間に取り組み配置 数字のようを決議しまでも同様にようとする形式 初り様く考え数字が通視によういて可能しようとす も常式、開始はから過程というできると認め、 り、評価・信息したりしようとする形式で写音に取り を組みている。	0	0		1
第2章 競技事をその定用 第			1888 ・ 1882 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	٥	0	۰	14 0.00 210

【思考力、判断力、表現力等】第一次で編を論論的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を 「思考力、判断力、表現力等」用いて事象を開課・明確・句能に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、私り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の 過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする意度や創造性の基礎を培う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理、法則を 体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を	察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測 し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察した	柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善
身に付けている。	りする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解 決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする カを身に付けている	したりしようとする。

Ш							
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	数列と一般項	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として 等差数列と等比数列を理解し、そ おらの和を求められるようにす る。これらの数列を様々な事象の 考察に役立てようとする姿勢を養 う。	知識・技能 数別の定義、表記について理解している。 【思考・判断・表現】 動か並び方からその規則性を推定して数列の一般項を考察できる。 「主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。	0	0	0	6
	等差数列 等差数列の和 等比数列	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列としていて理解する。基本的な数列として等差数列と等としてもれらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	(知識・技能) 学差数例の公差、一般項を理解している。 「選考・判断・表現」 「選考・判断・表現」 解検する項の関係が考察できる。等差数列の 和を求める方法を工夫できる。 「主体的に学習に取り組む機度」 等差数例の和の公式を自ら導こうとする。	0	0	0	6
	1章1節確認テスト			0	0		1
1 学期	等比数列の和 和の記号 耐差数列	数列やその一般項の表し方につい て理解する。基本的が素列として 等差数列と争比数例を選択し、そ れらの和を求められるようにす る。これらの知のを除った事象の 考察に役立てようとする姿勢を養 う。	【知識・技能】 等比較例の和の公式を適切に利用して和を求めることができる。Σの計算ができる。階差 数例を利用して一般項を求めることができる。 【思参・判断・表現】 等比数例の和を求める方法を工夫できる。数 列工学でる。数例の規則性を発見する方法と 工工学でる。数例の規則性を発見する。 「主体的に学習に取り組む地理」 接到計算に興味・関心をもち。具体的た問題 に取り組もうとする。群数別に興味を持ち奏 象しようとする。最初に興味を持ち奏 象しようとする。最初に興味を持ち奏 象しようとする。最初に興味を持ち奏 家しようとする。最初に興味を持ち奏 家しようとする。最初に興味を持ち奏 なる積極的に活用しようとする。	0	0	0	63
	1章2節確認テスト			0	0		1
	いろいろな数列の和 漸化式	数列やその一般項の表し方につい て理解する。基本的な数列として 等差数列と等比数列を理解し、そ れらの和を求められるようにす る。これらの数列を様々な事象の 考察に役立てようとする姿勢を養 う。	【知恵・技能】 工夫をして和を求めることができる。 漸化式 から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を考 えることができる。 【事件的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に漸化式を括用しようとする。	0	0	0	5
	1章3節確認テスト			0	0		1
	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について理解 し、期待値や分骸、標準偏差など を求めることを通じて、分布の特 徴を把握できるようにする。連続 型確率変数についても四解し、正 規分布を様々な日常の事象の考察 に活用できるようにする。	【知識・技能】 磁準実数や機能・分布について、用語の意味を 理解する。 【思考・判断・表現】 数行の結果を確率分布で表すことの意味がと らえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体帯分析について積極的に参索しようとす	0	0	0	15
	確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 一項分布	確率変数と確率分布について理解 し、期待値や分散、標準磁差とど を求めることを通じて、分布の特 後を把握できるようにする、連続 型確率変数についても理解し、正正 規分布を様々な日常の事象の考察 に活用できるようにする。	【知識・技能】 期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 わし 預の期待値を求めることができる。 【思夢、判断・表現】 (電等)有の特徴を考察することができる。 確等変数の和の期待値を、複雑な場合に応用する。 「主体的に学習に取り組む態度】 期待値、分散に関する公式を、既知の公式を 開いて第こうとする。 確等変数の娘立について注意を向けようとする。	0	0	0	8
2 学期	確率変数の和と積 二項分布 正規分布	確率変数と確率分布について理解 し、期待値や分散、標準偏差など を求めることを通じて、分布の特 徴を把握できるようにする。連続 型確率変数についても理解し、正 規分布を様々な日常の事象の考察 に活用できるようにする。	【知識・技能】 機立な健率変数の積の期待値を求めることが できる。 二項分布に従う健率変数の期待値や分散を求 めることができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察す ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布のグラフに関心をもち、調べてみよ うとする。	0	0	0	8
	2章1節確認テスト			0	0		1
	統計的な推測	確率変数と確率分布について理解 し、期待値や分散、標準配差など を求めることを通じて、分布の待 後を把握できるようにする。連続 型確率変数についても理解し、正 規分布を様々な日常の事象。 に活用できるようにする。 昨集団 し、仮設検定ができるようにする。 し、仮設検定ができるようにする。	【知識・技能】 日常の身近な問題を統計処理するのに、正規 分布を利用できる。 【理券・判断・表現】 正単分布を利用して現実のデータについて考 寮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なデータについて考察しようとする。	0	0	0	16
	2章2節確認テスト			0	0		1
3 学期	問題族習	数列や統計的な推測について理解 し、それらを様々な事象の考察に 役立てようとする姿勢を養う。	知識・技能 数別、統計的な推測についての基本的な概念 や原理、法則を体系的に理解している。事象 を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に辞釈したり、数学的に解釈したり、数学的に解釈したり、数学の任何でいる。 [思考・判断・表現] 職能的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し旁線する力、確率分布の性質に着 目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標 本調度の方法や結果を批判的に考察したり、 石力、目常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果と扱り 返って考別とたりする力を身に付けている。 [主体的に学習に取り組む態度] 数学のよきを認識し数学を音に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度) 数学のようを認識し数学を音に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度)	0	0	0	6 計 70

1 設置教科・科目の名称

数学·数学演習 α

- 2 設置の理由
 - ・演習を通して、個に応じた指導を充実させたい。
 - ・数学 I と数学Aを関連させた発展的内容について演習を行うことによって、入試に対応する力を身に付けさせたい。
- 3 設置教科・科目の目標
 - ・スパイラル学習により、基本的な内容の定着を図る。
 - ・具体的な事象を数学化し数学的に表現・処理するなど、問題解決の能力を身に付けさせる。
 - ・問題解決の過程を振り返って考察を深めるなどして、評価・改善しようとする態度を身に付けさせる。
- 4 設置教科・科目の学習内容
 - ・1 学年で学習した内容についてポイントを押さえ復習する。
 - ・基本的問題について演習し、基礎・基本を定着させる。
 - ・標準的問題について演習し、入試に対応する力の基礎を身に付ける。
 - ・数学 I と数学Aの融合問題を含め、総合的発展的な問題について演習し、入試に対応する力を身に付ける。
- 5 設置教科・科目の履修学年及び履修単位数

第3学年 3単位

6 担当を予定している教員の教科

数学

7 使用教科書等

教科書:713 数研出版「高等学校数学I」 713 数研出版「高等学校数学A」

副教材:数研出版「4プロセス数学 $I \cdot A$ 」 数研出版「シニア数学演習 $I \cdot II \cdot A \cdot B \cdot C$ (ベクトル)」

(様式2の2) 〔年間指導計画〕

東京都立 保谷 高等学校 全日制 課程 普通 科

8 年間指導計画

(1) 授業の1単位時間: (50) 分間

(2) 年間指導計画:

学期	指導項目	指 導 内 容	評価計画	配当時間
1	数と式	式の計算	[知識・技能]	
		式の値	考查	
		1次不等式	[思考判断表現]	1 5
	 集合と命題	 集合と命題	考査 [主体性]	6
	米口で印版	米口で中心	授業の取り組	O
	2次関数	関数とグラフ	み・提出物	
		関数の最大・最小		8
		(() ()		
		(中間考査)		1
		 2次方程式,2次不等式		
		2次関数のグラフと x 軸の共有点		1 0
	図形と計量	三角比の基本		
		三角比と図形		_
		データの分析		1 5
		(期末考査)		1
		Cypin J.E.		1
2	場合の数と確率	場合の数,順列	[知識・技能]	
		組合せ	考查	
		確率	[思考判断表現] 考査	1 5
		(中間考査)	考査 [主体性]	1
		(117) (12)	授業の取り組	1
	図形の性質	図形の性質	み・提出物	10
	+1.01/1 = 1.1 1515	MAKE A MAKE		
	整数の性質	約数と倍数		
		不定方程式 整数の種々の問題		1 2
		正然・万里へ・万円医		1 2
		(期末考査)		1
<u> </u>	1	<u> </u>	ı	

3	数学I・Aのまとめ	[知識・技能] 考査	9
	(学年末考査)	[思考判断表現]	1
		考査 [主体性]	
		授業の取り組 み・提出物	
		o). IVETT-100	
	配 当 時 間 合 計		1 0 5

教育を思う	 ベクトルの考えについての基本的な・場面を伸系的に理解するとともに、 にもり、発酵的に解析したり、物学の の確したりする技能を身に付けるよ 	概念を表 事業を表 的にす 力のに対	平面上の関系について 方程式を用いて図を したり、図形の作覧を 関数関係学的に表現する に若目し、手象を数学 の透視や観響を振り返	環域学生の原理を は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	形成、助り強く考えが ようる形成、問題解2 混め、評価・故書し、 認め、評価・故書し、 はよう。	数学的語 色の週刊 ようとす	機に基 を振り る形成	ざいて 花って や新花	州朝し 専報を 独の基
		61	・ 事業を数学的に表現 性質に割目し、母素語 はま作者のもはの様	し考察する力、確認分布 の傾向を推測し判断した 単名研究的一条報子を以					
	東近の保持の日報報 では、日本の ないでは、日本の は、日本の では、日本の	機構 立1、智等元、可 2、4、不等元の ・ 四種意、 ・ 一種立作、 ・ ・ を の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	課書・内容 だの証明 定明 アスト	「細菌・技術」 「は、一般性質」 「は、一般性質」 「は、これを、一般性質」 「は、	、同間性量ができまった。 の関係を表現したが ものできなことが最後を を対してよりが を対してよりが のできまり、 のできま	0	0	0	acm pre
・子類	BUILDING MINEL THE CONTROL MIN	立、復興数とで の想象の交流 の20、無様でから方 成一様である。 の提出権 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京利間 アスト	「大学」とは、「大学」というない、「大学」とは、「大学」といいいいいいは、「大学」といいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	第一年 日本	0	0	•	20
	では他国 18世代人 画館のであれて、最初の報告 画館のである。 日本のでは、では他 他記載を含まる。 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	29. 由非上面第 20. 他就 20. 他	B わた ぶ が様々の原理 正式所 アウスト	1	の出版を課される。 を提案している。 を提案している。 のは今年の のは今年の できる。同の中ものか できる。同の中ものか できる。同の中ものか できる。同の中ものか できる。同の中ものか の関係ができませる。 の関係を手に ができる。 本等のようできる。 本等のようできる。 本等のようできる。 本等のようできる。 をはまる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	0	0	0	12
	をはま 一角複数 一角複数 の身体に信用できるようにする。	22. 二角質数 22. 二角質数 22. 二角質数 - 同種意、 - 同性素、 - 質性物、 - 一		第12年20年で発売であっています。 第2年20年で発売できませます。 第2年20年で発売できませます。 第2年20年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年20年であり、 第2年20年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年であり、 第2年20年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年20年 第2年20年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年 第2年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20	ャの二角関数の値を 等角、平角か立式など 等角、平角か立式など 値を含むから、端な関 値を含むから、二角 をご数から、一角 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 がなり、 の に の の に の に の に の の に に の に に に の に に に に に に に に に に に に に	0	0	0	11
	が明確。 の研究と、特殊的 の研究と、では関係している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	24. 目前研查 公司 存物资金 。 四階級、 原 、 一 開始地 、 个	可能開發(1) 分析的情報(2) 定於明 完全人	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	有限を、	0	0	0	1
77.88	Marie Morie Moried Westernord Microscott フェール・データー Marie	60.種分の計算 61.定種分で算 62.直種	福 報道 ・ 一般 (編) ・ 「他(編) ・ 「一般(編) ・ 「本人の ・ 「本人の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出土 1917年 の機能 一 ・ 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	数数と、10年 では、10年	0	0	0	14
	定場中度 無計算 無計算 の に関係する。最高的の機能としていい に関係する。最高的の機能としている。 は一般をである。 は一般をである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「知識・技能」 第三についる を特別の実施 一般など ・ 一を ・ 一を	で開催している。等を で開催している。等を 発料目でもなってきる。所述を があってきる。所述を があってきる。所述を があってきる。所述の できる。 ので。 のです。 のできる。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 ので。 ので。 ので。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 ので。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでで。 のでで。 のでで。 ので。 の	0	0	0	11
0 7 27	報は他 維計的の推薦 総副変更と継形が配こついて理解 に、同時能が分配。標準認定と を水めることを確じて、分布の特 動を影響できるうなであった。 他の を必要できるうなである。 他の を必要できるとなった。 他の を必要できるとなった。 他の を必要できるとなった。 他の を必要できるとなった。 他の を必要できるとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 他の をとなった。 をとなる。 をとな。 をとなる。 をとな。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとな。 をとな。 をとな。 をとな。 をとな。 をとなる。 をとなる。 をとな。 をとな。 をとなる。 をとなる。	47. 推思分布 46. 被混加的仓誉 - 数件客、市 - 提位物、小	8周 避勤、地不利用 アスト	【思考・同歌・哀唱】 試行の証拠を確率分布で らえられている。 確率分 ことのできる。 理定学数	表すことの意味がと 客の特徴を考察する の他の製造媒体を	0	0	0	9
	製造機 のおよれた名をおりつませた。 のおよれた名をおりつませた。 のおよれた名をおりつませた。 のは、対している機能ができない。 では、対している機能ができない。 のが他は、して関係がよりから のが他は、して関係がよりから のが他は、して関係がよりから のが他は、これである。 のでは、これである。 できない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。	他、ベラトル・公 30、ベラトル・公 31、ベラトル・ 31 ベラトル・ 31	中国の利用 芝園の市 芝園の市 地本利和 アスト	部の場合に対する。 ・	、関係できる。平行 で、第次の証明や図 位置、タケトルを認用 を含。 点がの存在範囲 空間のベクトルが2つ 通りにある意名を介が 平型となるを介が 平型となるを介が 下型となるを介が 下型となるを介が いて考数できる。	0	0	0	11

年間授業計画

(保谷 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科
教 料: 理料
対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組
教科担当者: 大橋 義裕
使用教科書: (数研出版 物理707・708 総合物理
教科 理科

の目標: 理科 科目 物理 **生174 174** 単位数: 6単位

【知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を 身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的
め、科学的に探究するために必要な観察、実験	養う。	に探究しようとする態度を養う。
などに関する技能を身に付けるようにする。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	第1編 力と選外 物体の運動についての観察、実験な どをとおして、次の事項を身に付け ることができるように指導する。 ケートをなっている。 物理と則等を理解するとともに、大きなの観察、実験などに関する技能 なおらの観察、実験などに関する技能 イ 振々な物を運動について、観 第、実験などを通して探究し、平面 第、実験などを通して探究し、平面 第、実験などを通して探究し、平面 第、実験などを通して探究し、平面 第、実験などを通して探究し、平面 第、対象がある。 体分子の運動における規則性や 性を見いだして表現すること。	第4章 運動量の保存 第5章 円運動と万有引力 第2編 熟と気体 第1章 熱と物質 第2章 気体のエネルギーと状態変 化	知識・技能) 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。(評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【裏多・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。(評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。(評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	0	0	0	26
期	第4編 電気と磁気 電気に関する現象についての観察、 実験などを通して、次の事項を身に 付けさことができるように指導する。 ア 電気について、日常生活や社会 と関連付けて、基本的な物理法則等 を理解するとともに、それらの観 けおこと。 イ 電気について、観察、実験など 方面とと。 を通いたが、実験など を通いたが、であると電流における を通いたが、であると を通いたが、であると を通いたが、であると を通いたが、であると を通いたして表現 すること。	第4編 電気と磁気 第1章 電気 第2章 電流		0	0	0	46
	第3編 波 水面波, 音、光などの波動現象について観察、実験などを通して、次の 事項を身に付けることができるよう ア 波について、同常生活や社会と 理解するとともに、それらの観察、 実験などに関する技能を身に付ける こと。 イ 波について、観察、実験などを 光における規模とし、波の伝わり方、音、 光における規模とし、近の伝わり方、音、 光における規模とし、近の伝わり方、音、 光における規模とし、近の伝わり方、音、 光における規模とし、近の伝わり方、音、 光における規模とし、近の伝わり方、音、 光における規模と	第2章 音第3章 光	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。(評価方法)・確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。(評価方法)・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり、科学学的に探究しようとしている。	0	0	0	28
2 学期	第4編 電気と磁気 磁気に関する現象についての観察、 実験などを通して、次の事項を身に 付けることができるように指導す る。 アー磁気について、日常生活や社会 を理解するともに、それのの観 察、実験などに関する技能を身に付けること。 イー磁気について、観察、実験など イー磁気について、観察、実験など を通して深更し、電気を選続における る規則性や関係性を見いだして表現 すること。	第4編 電気と磁気 第3章 電散と地場 第4章 電磁誘導と電磁波	子中に代元しまりとしている。 (評価が注) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	0	0	0	30
	第5編 原子 電子、原子及び原子核に関する現象 についての観察、実験などを通し て、次の事項を身に付けることがで さるよう指導する。 ア 原子について、基本的な物理法 則等之理能するととして、 観察、実験などに関する技能を身に 付けること。 イ 原子について、観察、実験など を通して探究し、電子と光、原子を 原子核における規則性や関係性を見 いだして表現すること	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核		0	0	0	20
3 学期		大学共通テスト・人試問題演習	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深 教介とに関する技能を身に付けるようとして いる。 (評価方法) 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 電話デスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 電話デスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認デスト・ドリル・振り返りシート	0	0	0	60
							合計 210

保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 教 科:理科 料 目:生物 単位数: 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組 使用数料書: (数研出版 生物 科目 生物 **生 17 17** 単位数: 6 単位

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を 身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【学びに同かう力、人間性等】目が必ず物・必要に主体的に関わり、科子的に採売しようとする態度を養う。
科目 生物 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深
動、科学的に探究するもかに必要を収録、実験
養う。
などに関する技能を身に付けるようにする。

	I	1			1		劉业
L	単元の具体的な指導目標 第1章 生物の進化	指導項目・内容 第1章 生物の進化	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 **	第2章 細胞と分子 生物の進化についての観察、実験な どを通して、次の事項を身に付ける ことができ あよう指導する。 ア 生物の進化について、次のこと 重理解するとともに、それらの観 募集を見付けること。 イ 生物の進化について、観察、実 を付けけること。 イ 生物の進化について、観察、実 験などの重して探究し、生物の進化 についての特 徹を見いだして表現すること	第2章 細胞と分子	【四級、快時な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表型】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主物的に学習に取り組む態度】 生物的かな事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	0	0	0	26
期	第3章 代謝 第4章 遺伝情報の発現と発生 生命現象と物質についての観察、実 験などを通して、次の事項を身に付 けることが できるよう指導する。 ア 生命現象と物質について、次の 観察、実験なとともに、それらの 実験などを通して探究し、収 イ 生命現象と物質について、観 気、実験など適して探究し、生命 現象と物質について、観 力を発展していて、観 の大能質について、観 力を発展していて、表の での特徴を見いだして表現すること。	第3章 代謝 第4章 遺伝情報の発現と発生		0	0	0	46
	第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答 生物の環境応答についての観察、 実験などを通して、次の事項を身に 付けることが できるよう指導する。 ア 生物の環境応答について、次の 主を理解するともに、それらの 建築、実験な どの技能を身に付けること。 イ 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、 東策に対する生 物の応答の科賞を見いだして表現す ること。		【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深 め、科学的に探守するために必要な観察、実 験などに関する技能を身に付けるようとして いる。 (評価方法) 概認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しよう としている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的なな事物・現象に主体的に関わり、科 学的に探究しようとしている。	0	0	0	28
2 学期			・ 「評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	0	0	0	30
	総合演習 【知識及び技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の 理解を深め、科学的に探究問する技 に必要な観察、実験などにする。 【思考力、期折力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探 完了る力を養う。 生物的な事物・現象に主体的に関わ り、科学的に探究しようとする態度 を養う。			0	0	0	20
3 学期			【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深 飲み、科学的に接究するために必要な暖架、実 飲などに関する技能を身に付けるようとして いる。 (評価方法) 概認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しよう としている。 (評価方法) (課節方法)、実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的なな事物・現象に主体的に関わり、科学的に保定しようとしている。 (評価方法) (評価方法) (部面方法)	0	0	0	60
							合計 210

 保谷
 高等学校
 令和6年度(3学年用)
 教科
 理科

 教科: 理科
 科目: 化学基礎演習
 単位数:

 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組

 使用教科書: (実教出版 化基704 化学基礎
 科目 化学基礎演習

教科 理科 の目標:

「知 識 及 び 技 能 】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を 養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探 究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	を理解すること。また、物質と化学 結合についての観察、実験などを通 して、次のことを理解するととも に、それらの観察、実験などに関す る技能を身に付ける。 、選集力、判断力、表現力等 物質の構成について、観察、実験な どを通して探究し、物質の構成にお ける規則性や関係性を見いだして表 現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 科学的に探究しようとする態度を養 う。	1 純物質と混合物 2 物質との成分 3 物質の三態と熱運動 1 原子とその構造 2 イオン 3 周期表	知識・技能] 日常生活や社会との関連を図りながら、物質 とその変化について理解するとともに、科学 的に探究するために必要な観察、実験など る。 (評価方法) ドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しよう としている。 (評価方法) ・ドリル・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようと所究がと、といるといる。 「評価方法) ・「実験プリント・ドリル・振り返りシート	0	0	0	18
1	<u> </u>			0	0		1
Ĭ.	第1編 物質の構成と化学結合 第3章 粒子の結合 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、次のこと を理解するとと。また、物質と化学 結合についてことを理解するととも に、それらの観察、実験などを通 して、次のことを理解するととも に、それらの観察、実験などに関す る技能を身に付ける。 【思考力・判断力、表現力等】 物質の構成について表現質構成について表現 どを通して探究し、物質、構成について表現 とを通して探究し、物質、構成について表現則性や関係性を見いだして表 現まする。 「学びに向かう力、人間性等】 物質をその変化に主体的に関わり、 教学的に探究し、あらとする態度を奏 う。	1 イオン結合とイオン結晶 2 共有結合と分子 3 配位結合 4 分分子間にはたらく力 5 分子間にはたらく力 6 共有結合の結晶 7 金属結合と金属結晶		0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
	第2編 物質の変化 第1章 物質働を化学反応式 【知識及び技能】 物質量と化学反応式、化学反応、化 学が括いらく世界について、次のこ とを理解するとともに、それらの観 察、実験などに関する技能を身に付 ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観 察、実験などを通して探究し、物質 の変化に対る規則性や関係性を見 いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 科学的に探究しようとする態度を養 う。	1 原子量・分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質量		0	0	0	13
屶				0	0		1
Ĭ,	第2編 物質の変化 第2章 酸と塩基の反応 【知識及で技能】 物質量と化学反応式、化学反応、化 学が拓明なで世界について、次のこ とを理解するとともに、それらの 家、実験などに関する技能を身に付 ける。 (思考力、判断力、表現力等】 物質の変化とその利用について、観 家、実験などを通して採究し、物 家、実験などを通りで深たし、 の変化における短期性や関係性を見 いだして表現かうか、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、 料学的に探究しようとする態度を養 う。	1 酸・塩基 2 水業イオン濃度とpH 3 中和反応と塩 4 中和適定		0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
屶	第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応 【知識及び技能】 物質量と化学反応式、化学反応、化 学が拓ひらく世界について、次のこ を理解するとともに、それらの観 察、実験などに関する技能を身に付 ける。 【思考力、判断力、表現、等 物質の変化とその利用について、 観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見 いだして表現り性や関係性を見 いだして表現り性や関係性を見 が質との変化に表ける大人間性関 物質との変化に表けるために関 対学的に探究しようとする態度を養 う。	1 酸化と選元 2 酸化剤と選元利 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用		0	0	0	12
				0	0		1 合計
							70

保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物基礎演習

 教 科: 理科
 科 目: 生物基礎演習
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 選択

使用教科書: (高等学校 生物基礎 数研出版)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるよう 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	生物の特徴	生物の多様性と共通性 細胞 代謝とエネルギー	[知識・技能]生物の細胞に関する知識がある。またそれらを観察するための方法がわかる。 ◎評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	8
	定期考査			0	0		1
1 学期	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報 タンパク質合成 複製と分化 ゲノムと遺伝子	[知識・技能]生物の遺伝子に関する知識がある。またそれらを観察するための方法がわかる。 ◎評価方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	8
	定期考査			0	0		1
	生物の体内環境の維持	体内環境 体内環境の調節 免疫	[知識・技能]生物の恒常性についての知識がある。 ◎評価方法・・小テスト・考査 [思考判断表現] 生物の恒常性について、自分の言葉で説明し、表現することができる。 ◎評価方法・・小テスト・考査 [主体性]生物の恒常性について意欲的に学習を進めているか ◎評価方法・・授業の取り組み・提出物				12
2 学期	生物の多様性と生態系	生態系 バイオーム 遷移 生態系のバランス	[知識・技能]生物の多様性についての知識がある。 ◎評価方法・・小テスト・考査 [思考判断表現]生物の多様性について、自分の言葉で説明し、表現することができる。 ◎評価方法・・小テスト・考査 [主体性]生物の多様性について意欲的に学習を進めているか ◎評価方法・・授業の取り組み・提出物				10
3 学期	まとめ	思考力問題・計算問題を重点的に 授業で取り扱う。知識に関しては 授業はじめに小テストを行うこと で定着を図る。 問題演習ほか・・模擬試験形式で 問題演習ほか、各自の進路希望 興味関心・到達度に応じて課題を 進める。	[知識・技能]生物基礎全般の知識が身についている ◎評価方法・・小テスト・考査 [思考判断表現]生物基礎の知識をもとに、グラフを読み取ったり、自分の考えを表現することができる ◎評価方法・・小テスト・考査 [主体性]意欲的に生物基礎について学習を進めている ◎評価方法・・授業の取り組み・提出物				10
							合計 50

| 保谷 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 理科 科目 化学演習 教 科: 理科 単位数: 6 単位 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組 使用教科書: (数研出版 化学706 化学) 教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

Ĺ							
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第3編 無機物質 「知識及が兌能] 無機物質について、次の更を、実験 するともに、それらの関係、実験 などに関する技能を身に付ける。 【思考力・期節力、表現の等] 無機物質について、観察、実験など 全通して深史し、典型元素。遷移元 素が性質における規則性や関係性を 見いだして表現し、共配元等、選移作 化学的な事物・現象に主体的に関め を養う。		知識・技能 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深 め、科学的に探究するために必要な観察、実 験などに関する技能を身に付けるようとして いる。 (評価方法) ドリル・定期考査 【思考・期帯・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しよう としている。 (評価方法) ・日本体のに学習に取り組む態度 佐学の次学を対し、科学的に探究しよう。 (評価方法) ・日本体的に学習に取り組む態度 佐学の次学なうとしている。 (評価方法) ・実験プリント・ドリル・振り返りシート	0	0	0	26
	定期考査			0	0		1
1学期		第4章 芳香族化合物		0	0	0	40
	第5編 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について、次のことを 現準計るとともに、それらの観察、 実験などに関する技能を身に付け る。 【思考力・料断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、 などを通して探究し、お後化合物則性 でいてした物の性質におよりする。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度 を養う。	終章 化学とともに歩む		0	0	0	29
	定期考査			0	0		1
	郭福 物質の状態 【知識及び技能】 物質の状態とその変化、溶液ると平と 物質の状態とその変化、溶液ると平と をして、大、次の観射、などに 間ともに、それらの観射、力等引 物質の状態と甲では、カカ等引 物質の状態と呼吸では、 をして探究と平衡にお現 をした。 をした。 をした。 のでは、 のでは	第4章 溶液		0	0	0	38
2 学	定期考査		1	0	0		1
子期	第2編 物質の変化 知識及び技能】 化学尿応と本ルギー、化学反応と終 化学平常について、次のことを理解 するととは、それらの領別 特質の変化とで、それらの場合。 物質の変化とを通して探究し、化学反応 生エネルギー、化学反応し、化学反学 における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし といたした。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、			0	0	0	43
	定期考査		-	0	0		1
3学期	究する力を養う。			0	0	0	30
L							210

【知 識 及 び 技 能 】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を 身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 理科演習(化学領域) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を 養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	第3編 無機物質 「知識及び技能] 無機物質について、次の記を、実験 するともは、それらの場合、実験なさ ととに関する技能を身に付ける。 【思考力・期節力、表現を1 無機物質について、観察、実験など 全通して探究し、典型元素。遷移元 素や性質における規則性や関係性を 見いとして表現し、間性等】 化学的に採究しようとする態度 を養う。	第1章 非金属元素 第2章 金属元素 (II) -典型元素- 第3章 金属元素 (II) -遷移元素-	知識・技能 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深 あ、科学的に探究するために必要な観察、実 験などに関する技能を身に付けるようとして いる。 (評価方法) ドリル・定期考査 「思考・判断・表現」 観察、実験などを行い、科学的に探究しよう としている。 (評価方法) 「主体的に学習に取り組む態度 「主体的に学習に取り組む態度」 「主体的に学習に取り組む態度」 「評価方法) 「実験プリント・ドリル・振り返りシート	0	0	0	8
	定期考査			0	0		1
1 学期				0	0	0	12
	郭富 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について、次のことを 高分子化合物について、次のことを 現理解するとともに、それらの観察、 長春である。 「思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物採完して、観察、実験、 などを通しが発光し、おける現る。 化学の企業がでいたして、観察を ので関係性を見いだして表明を有る。 化学的な事が、現象に主きという。 にいらから力、現象に主きという。 に対している。 関係は、 に対している。 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、	第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物 終章 化学とともに歩む		0	0	0	8
	定期考査		=	0	0		1
	第1編 物質の状態 【知識及び技能】 物質の状態とその変化、溶液さを平 物質の状態とその変化、溶液さを平 をして、水の水の、水の水の、水の水の 、水の、水の、水の、水の、水の、水の 、水の、水の、水の、水の、水の 、水の、水の、水の、水の、水の 、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、	第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液		0	0	0	12
2 学	定期考査			0	0		1
子期	第2編 物質の変化 知識及び技能】 化学反応を終 化学可能とネルギー、化学反応を終 するとともに、それらの観ります。 もなどに関する技能を身に付ける。 【関考力、判断力、表現力等】 物質の変化を通して探覚し、化学反応 大学反応とを通して学校に、化学反応 における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし における規則性や関係性を見いだし といたにおける規則性や のののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは ののののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは ののののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは ののでは のののでは ののののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは ののののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでの のののでは のののでのでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のののでは のので のので			0	0	0	15
	定期考査		-	0	0		1
3学期				0	0	0	11 合計 70

年間授業計画 新様式例

保谷 高等学校 令和53学年用

教科 芸術 科目 工芸

 教 科芸
 科 目: 工芸
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 2 組~ 8 組

使用教科書: (日本文教出版 工芸 I)

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 ぴ 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

科目 工芸 の目標:

	単元の具体的な指導目標		評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 オリエンテーション 【知識及び技能】 工芸とは?歴史、素材、技法など 様々な視点から普段使用しているモノとの関わりを通して理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生活との関わり、機能と造形の関 わりなどに着目し、工芸品に対する	・指導事項 「工芸」について 基本的な造形の構 成について考える [*] 点・線・面の構 成、染色体験(絞り染め) ・教材 教科書「工芸I」 染色 用具	解を深めている 【思考・判断・表現】	0	0	0	2
1 学期		・指導事項 課題 I 「模様(文 様)について考える」 課題 2 「シルクスクリーンプリント のデザイン」・素材 筆記用具、 タブレット端末など	【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理 解を深めている 【思考・判断・表現】 工芸や伝統と文化に対する見方や感じ方を深 めている 【主体的に学習に取り組む態度】 工芸や工芸の伝統と文化と豊かにかかわり主 体的に取り組もうとしている	0	0	0	4
	技法を理解して 丁寧に制作を進める 【思考力、判断力、表現力等】 使用する人や場など求められる機能と美しさや技法の特性をいかし、 構想を練リデザインする 【学びに向かう力、人間性等】 制作過程における工夫や技法などについて考え、主体的に取り組もうとする。	料、プリントインク,エコアック、 Tシャツ、手拭いなど	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。シルクスクリーンの制作方法を除まえ、意図に応じて制作創意工夫した表現活動をしている。 【思考・判断・表現】 使用する人や場に求められる機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に使用することを考え、生活を心豊かに演出する染色や文様の表現の創作奥活動に取り組もうとしている。	0	0	0	14
2	創造活動に主体的に取り組もうとす	制作を行えるようにする デザイン〜原型制作 [*] 型取 り〜金属の流し込み〜磨き完成 ・教材 粘土、石膏、ピューター、	の工程を丁寧かつ、創造的にすすめている。				10
, H		・指導事項 寒い季節に使用する日 用品として楽しく使えるデザインを 考え、制作過程を理解させ技法の特 色を生かした制作がおこなえるよう にする デザイン [*] 型紙制 作~水フェルトの制作 ・素材 原毛	【知識・技能】 縮絨技法の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすと共に、手順や技法を吟味し、創造的に表している。				10
3 学	E単元卒業制作 【知識及び技能】 今までの制作踏まえ各自テーマを 決め制作 【思考力、判断力、表現力等】 用途も踏まえる		【知識・技能】 意図に応じて材料や用具を生かすと共に、手順や技法を吟味し、創造的に表している。				6
子期							合計 46

週ごとの指導計画(単元指導計画)

芸術科 科目 音楽表現 単位数: 2 単位

 保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 芸術科 教 科: 芸術科 科 目: 音楽表現 単位数: 2 単位対象学年組:第 3 学年 音楽表現選択者 [知 識 及 び 技 能] 芸術に関する特質について理解し、表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わうことができる。

【学びに向かう力、人間性等】互いの存在、表現を認め合い、高め合う力を育成する。

題材の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
	ことや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら 味わって聴くことが出来るようになる。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組 み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと ともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽 によって生活や社会を明るく豊かにしていく態 度を養う。

_									度?	<u>を養う。</u>	
	具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	表現器	創	鑑賞	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)
	歌唱	声楽の基礎 呼吸法、発声法 コンコーネ、コールユーブンゲン 楽典、ソルフェージュ、器楽合奏	0				0	0	0	【知識・技能】 きちんとした発声を意識 しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っ ているか。学習に取り組 も態度) 生体的に影唱のに歌唱の 学習に取り組 も態度) 生体的に歌唱の と学習に取り組 もでいる。	4/16, 23, 5/7
1 学期	器楽	器楽合奏の楽曲決定、練習		0	0	0	0	0	0	■ 本語の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	5/14, 28, 6/4, 11, 18, 25
	歌唱	声楽の基礎 呼吸法、発声法の工夫 ソルフェージュ 二重唱曲の歌唱、器楽合唱		0			0	0	0	【知識・技能】 きちんとした発声を意識 しているか。 「思考・判断・表現】 曲担に合った音色で歌っ 「主体的に学習に取り組 む態度】 記様的・協働的に歌唱の 学習活動に取り組もうと している。	9/3, 17, 24, 10/8, 10/22, 29, 11/5, 12
2 学期		器楽合奏の練習				0	0	0	0	国 は	11/26, 12/3
3 学 期		ミュージカル	0							(知識・技能) 音楽の特徴と他の芸術群と他の芸術群と他ので現 育機ので、表現 音楽ので、表現 に思考・英につかい。 ・まる記 に思考・英につかい。 ・表の考えについる。 ・まな記 ・の考え、自ら ・である。 ・である。 ・では、一で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	1/14, 21

保谷 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 芸術 科目 美術表現

 教 科: 芸術
 科 目: 美術表現

 対象学年組: 第 3 学年 1 組~ 8 組
 単位数: 2 単位

使用教科書: (美術1

教科 芸術 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目 美術表現

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び

			表現				Т			陌	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵 ・ 彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	A 「文化祭ボスターデザイン」 【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生 かす。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や条件、美しさなどを考え、 主題を生成する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に伝える表現活動に取り組 み、見方や感じ方を深める。	・デザインに関心を持ち、伝える相 ・主題を生めた。作品形態や表現方 法、配色や構成などの構想を練る。 ・形や色、構成などを工夫して制作 する。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工 大を感じ取り、話し合う。		0		0	○形や色、材料、光などが感情にもたらす効果 や、配色や構成などの造形的な特徴などをもと に、効果的な伝達のデザインを、全体のイメー ジや作風で捉えることを理解している。 ○内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色など について考え、創造的な表現の構想を練ってい る。 ○内容や伝える相手について考え、効果的に内 容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動 に取り組もうとしている、	0	0	0	18
1 学期											
2	「目画像デッサン」 【知識・技能】 道図に応じ材料や用具の特性を生かす。 【思考・判断・表現】 表現形式の特性を生かし、形体や 色彩、構成などについて考え、創造 的な表現の構想を練る。 【主体的に学びに向かう態度】 主体的に美術の幅ない創造活動に 取り組み、生誕にわたり美術を受高 する心情を育むとともに、感性を本生 活や社会を創造してい、心豊かな生 活をや社会を創造してい、心態を考	・デッサンという方法で自己を表す。 ことに関心を持ち、自分を見つめましていた。 とから主題を生成する。 ・主題をもとに、作品形態や表現方 法、用具の使い方などの構想を練 る。 ・用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図やエ 夫を感じ取り、話合う。	0			0	○形や色、材料などから感情にもたらす効果 や、造形的な特徴などをもとに、自己を表した 作品を、た体のイメージや作風などえ捉える とを理解している。 ○自己を見つめ、感じ取ったことやから主題を 生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や患感をいかした表現などについて考え、創造的な 表現の構想を練っている。 ○主体的に自己を見つめ、感じ取ったことや考 えたことをもとにした表現の創造活動に取り組 もうとしている。		0	0	10
学期	「右すぎ…サン」	・デッサンという方法で他者を表す ことに関心を持ち、友人を見つめ感 じ取ったことから主題を生成する。 ・主題をもとに、作品形態や表現方 法、用具の使い方などの構想を練 る。 ・用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図やエ 夫を感じ取り、話合う。	0			0	○形や色、材料などから感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、他者を表した作品を、全体のイメージや作風などえ捉えることを理解している。 ○他者を見つめ、感じ取ったことやから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感といかした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ○主体的に他者を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている	0	0	0	16
3 学期	「作家の生涯と作品~バブロ・ビカソ」 【知識・技能】 造形の要素の働きを理解する 【思考・判断・表現】 ・日本及び諸外国の美術作品や文化 遺産などから美意識や創造性などを 感じ取り、日本の美術の歴史や表化に ついて考え、見方や感じ方を深め る。 【主体的に学ぶ姿勢】 主体的に学ぶ姿勢】 主体的に学ぶ音の幅広い創造活動に 取り組み、生涯にわたり美術を愛好 あ、美術文化に親しみ、心豊かな生 活や社会を創造していく態度を養 う。	○ビカメの生涯と作品に関心をおも ち、さまざまに作風を変化させなが ら新たな表現を追求した姿勢を感じ 取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作家 や作品の見方や感じ力を深める。				0	○形水色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ピカソの生涯との関りから、作品を、全体のイメージや作風なで捉えることを理解している。 〇ピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ○主体的にピカソの作品の造形的よさや美しなを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係ときを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている、		0	0	2
										-	合 計 46

1 設置教科・科目の名称

芸術・趣味書道

2 設置の理由

IT化が進み手書きの機会や需要がうすれてゆく中、文字を一番書いているこの時期に今一度書の基本の書き方や書式、文化や伝統に目を向けて生涯にわたり書を愛好する心情を育てられるよう本科目を「趣味書道」の名称で設置する。

3 設置教科・科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (ア) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の 伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味 や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (ウ) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、 書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

4 設置教科・科目の学習内容

《目標(ア)において》

- ・漢字および仮名の古典の臨書をとおして、文字の構成や用筆を学ぶ。
- ・漢字、ひらがな、カタカナの基礎的な書き方を学ぶ。

《目標(イ)において》

- ・古典作品を鑑賞し作品の特性、価値、表現効果などを味わう。
- ・臨書で学んだ表現方法を活かして創作作品を作る。
- ・生徒同士で作品を鑑賞し合いそのよさや表現を味わう。

《目標(ウ)において》

- ・生活の中の書や実用的な書の書き方を学ぶ。
- ・用具用材の正しい使い方を学び、目的に合った道具をみずから選び表現に工夫をする。

5 設置教科・科目の履修学年及び履修単位数

第3学年 2単位

6 担当を予定している教員の教科

芸術 書道

7 使用教科書等

光村図書「書Ⅰ」 38 光村 書Ⅰ 705

8 年間指導計画 (様式2の2)

記入上の注意

- (1) 「3 設置教科・科目の目標」については、箇条書きで具体的に記入する。
- (2) 「4 設置教科・科目の学習内容」については、大項目、中項目等を箇条書きで具体的に記入する。
- (3) 「6 担当を予定している教員の教科」については、「学校設定科目」の場合には当該教科の名称を、「学校設定教科」の場合には担当を予定している教員が取得している免許状の教科の名称を記入する。
- (4) 「7 使用教科書等」については、教科用図書の他に副読本等を含むものとする。
- (5) 「8 年間指導計画」については「様式2の2」に、指導項目、指導内容及び配当時間等を詳細に記入する。

その際、評価計画については、評価の観点及び評価方法を記入する。また、配当時間については、 1単位当たりの授業時数が35単位時間となるように年間指導計画を作成する。 東京都立 保谷 高等学校 全日制 課程 普通 科

8 年間指導計画

(1) 授業の1単位時間: (50) 分間

(2) 年間指導計画:

学期	指導項目	指 導 内 容	評価計画	配当時間
7 //1	基礎的な字形の学習	・普段の自身が書く文字の癖を把握させる	三観点すべて ※1 提出された作品 ※2 ワークシート	1 0
	文字を美しく(正しく整え て)書くためのポイント ●漢字	・活字との違いや本来の手書き(書写体)の美しい字形とはどういうものか、毛筆と硬筆両方を使って確認させる	(文字の丁寧さ含 む) により評価する	
1	●ひらがな●カタカナ	・字母を知ることによって、より正しい形を理解させる	(1)知識技能 ①書写能力 ②用具用材の効果 的な使い方	
		・誤りやすい形を確認	HJ. & K. V.	
		・漢字、ひらがな、カタカナの違いとそれぞれの特徴を理解させる	(2)思考判断表現 ①活字との違いを 理解している ②基礎知識からの	
		ワークシートにポイントを各自まとめさせる	応用ができている か	
			(3)主体的に学習に 取り組む態度 ①ワークシートに 要点をまとめる	
	暮らしの中の書	・うちわに書く文字と色との調和を考えさせる・伝統的な和紙の染め方で色付けさせる・歳時記より夏の言葉を選び、表現にあった書体と大きさで書かせる	※1(1) ①②(2)③文字の大きさ④余白などの配置(3)⑤一つ一つの工程の作業の丁寧さ	10
	漢字かな交じりの書 ●(半紙)詩文 ●(半切)自分の用意し た言葉で書く	・五體字類を使って字調べさせる・文字の大きさ、行間、余白、書体、落款に留意し、表現方法に合った用具・用材を決めさせる・構成に工夫し作品を書かせる	※1および※2(1) ①②(2) ③④(3)⑥工夫して取り組	10
2	臨書	・古典の特徴を捉えるとともに、配置と大きさに留	む姿勢	

	●古典を自ら選び臨書 する	意して作品を書かせる	※1 (1)	1 0
	●表装をする	・表装機を使って裏打ちをすることで表具の大切さを理解させる	⑦古典の書風の理 解および用筆、運 筆の技能 (2) ③④ (3) ⑤	
	実用書(ペン字) ●履歴書 ●往復はがき	・定型書式の正しい書き方や決まりを理解し、さらに美しく読みやすくみえるように工夫して書かせる	*1(1) ①2(2) ③4(3) ⑤	6
	小品作り	・文字決めから書体、使用する用具用材の正しい使い方を理解させる ・文字に合った表装を考え、自分らしい作品を制作させる ・生徒同士で鑑賞させる(鑑賞ワークシート)	※1および※2 (1) ①② (2) ③④ (3) ⑤⑥	10
3	大字 ●自分の今年一年を 表す漢字 (全紙二分の一)	・文字を決め、紙のサイズに合った太さと大きさで書かせる(半紙に書くときとの違いを知る)・本文に調和した落款を考え、書かせる(位置および大きさ)	%1(1) ①②(2) ③④(3) ⑤⑥	6
	くらしの中の書 (筆ペン) ●金封の表書き	・表書きの決まりを理解させる・大きさ、位置に留意しながら書かせる・実際の金封を使って書かせる	<pre>%1 (1) ①2 (2) ①3④ (3) ⑤</pre>	8
		配 当 時 間 合 計		7 0

いりがマール・フッツ。 コミューアーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日本的な話題や社会的な話題について、外国話で情報や考 (20号力、判断力、表現力等) えなどの意思である。詳細、話し千や書き予の意図などを的端に場合したり、これらを活用して適切に表現したり伝え 会ったりすることができる力を示

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、関き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国 第2年代に向かう力、人間性等】 話を用いてコミュニケーションを図るうとする思想を受う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	L	L	領地	88	L	評価規準	知	1 15	1 15	8
	Friendshin and improvement	R	挽	9	免	書	[和勝及75件節]	L	L	L	į
「中国の 1978年	Pylendalip and Improvement 相談メール サアメリカに留学中の二人の日本 人学生の解みを解決するため に、スタールカウンセラーとし TEメールでアドバイスを送る。	0	0	0		0	知識及び目的 動画 自分の意見や生態かどを信え合う ためにな事となる論博の原準を開展だ ためにな事となる論博の原準を開展だ は我一般の原準を使用している。 は我一般の原準を使用している。 は我一般の原準を使用している。 して信えるう技能を身に分けている。 に書きり、制御の展集をしてによる方は はまり、制御してはながら、自分の意見を生 はましては、となが、自分の意見を生 はましては、となが、自分の意見を生 はましては、となり、自分の意見を生 はましては、となり、自分の意見を生 はましては、となり、自分の意見を生 はましては、となり、自分の意見を生 は、となり、自分の意見を生		С	0	
問題の野秋果を助言できるよう。 俄破の 受料を活用とながら、自分の意見や主張な どを、論理の構成や限開を工夫して詳しく は、本日本、フロースの本会、 「知識及び技能」 知識 自分の意見や主張などを伝え合うため に必要したる論理の確かの限則を75を形め に必要したる論理の確かの限則を75を形め に必要したる論理の確かの限則を75を形め	Which is better, a paper or an electronic dictionary? 書店での商品説明 クラスアのプレゼンテーション						訴しく熟したり書いたりして似た合って いる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解決策後的言できるように、複数 事故とどを、強力の意見やエチレス を 報文どを、独の情報や展別によっな。 「知識」自分の意見や王美した。 「知識」自分の意見や王美した。 「知識」自分の意見や王美となると聞くたった。 ために必要となる施規の構成や限期及び 未規修を提供している。			_	
で発・調かの機を中間を工業して事にく 「加速などは1000円」 「加速などは100円」 「加速などは100円」 「加速などは100円」 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	和は他は、Aption、Appen on an electronial factionary 書店での最高別 書店での最高別 書店での最高別 の影響のために、基本で物の影響のように、基本で物の影響の大力に、基本で物の影響を表する。 またである場合の影響を表する。 またいの音楽の見聞を開き、 大きないの音楽のと関うと考えたの音楽を 大き数の個書点をまとめる。	0	0	0	0	0	場合と生。無償の機能で開発と大夫して 「無償の力の数をで開発と大夫して 「無償の力の数をで開発して必要して に関係している。 に関係している。 に対している。 にがしな、 にがしないる。 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、 にがしな、		c	0	0
「知識及び技術」 「知識なりでは、「ないないない」 「知識なりのでは、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Can jusa changa your serimani 1179 新脚の係み間数コンムで 174数 開発の場合が開発コンムで 174数 よとなんられるのコンムに自信からまた。 (1740 年間 1740 日間 1	0	0	0		0	「知識及び発動」 やままなどを与え合う ためになる かった かいまま から 地域 や 間報 皮 は から 地域 や 間域 で は から は から しまった いまった いまった いまった いまった いまった いまった いまった い	0	С	0	0
■ 19 かって記載できます。となるうちため に必要するとも無い。 に必要するとも無い。 に必要するとも無い。 はおいまない。 にはないない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。	Boc do w make decisions? 心理学のクラスで「歴史文」 心理学のクラスで「歴史文」 心理学の受験がある。 「成者など、 「成者など 「 (成者を () () () ()) () () ()	0	0	0		0	の書かたのじて起ぶ合からとしている。 「無異など日本」がありませました。 に関係している。 に対している。 には、このでは、このでは、一のでは、 には、このでは、このでは、 には、このでは、このでは、 には、このでは、 には、このでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	0	С	0	
定期考查 Lesson5	Online doctor consultations	L	L	L	L	L			C	I	Į
は関係の対象との対象とであるとなっている。 は関係の対象とであるとなっている。 のは、のないであるとなっている。 のは、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないであるとなっている。 では、できないである。 では、できないである。 では、できないである。 では、できないである。 できないできないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないできないである。 できないである。 できないである。 できないできないである。 できないである。 できないである。 できないである。 できないできないである。 できないできないである。 できないできないである。 できないできないである。 できないできないである。 できないできないである。 できないできないできないである。 できないできないできないできないできないである。 できないできないできないできないできないできないできないできないである。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	加加を合せなで consoltation ウェブサイト オンライン自要と過渡の政策等 最大地域した、それぞれの何点 そちえる。	0	0	0		0	協議を対象と 組織、自のの意味をも選んとを与え合う ためたる場合の場合の構造の関係 には、またが、自然のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		С	0	2
「田園及7月間」 田園 日今中見水土面の文を仮えらうため、 この書きなる場合の個人で開発が実際が 田田 日今中見水土面の一個大小面の 田田 生活なっていた。日今の 田田 生活なっていた。日今の 田田 生活なっていた。日今の 日本 生活なっていた。日本の 日本 生活なっていた。 日本 生活なっていた。 日本 生活ないません。 田田 生活ないません。 日本 生活ないまたん。 日本 生活ないまたん 生活ないまたん 生活ないまたん 生活ないまたん 生活ないまたん 生活ないまたん 生活ない 生活ない 生活ない 生活ない 生活ない 生活ない 生活ない 生活ない	Mealthy Iffestyle 友達円立の記 カラスメートのジェイクの健康 状態をなに添け、と結スタイル と改善するためのアドバイスを でる。	0	0	0		0	製の資料を使用したから、自分の企業の 「無線及び円型」、 に無線など円型」、 に対しては、またりませんでは、 に対しては、またりませんでは、 に対しては、またりませんでは、 に対しては、またりませんでは、 に対しては、またりませんでは、 に対しては、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが		С	0	9
	What do you do after school?	l	ļ	L	F	F	【知識及び技術】	С	C	I	1
工場内は 「一個の関係では他」 「一個の関係では他」 「一個の関係では他」 「一個をなった。 「一個をなった。 「一個をなった。 「一個をなった。 「一個をなった。 「一個なった。 「一個なった。」	Want do you do after school? メール交換 メール交換 が成れると比較する。	O	0	0		0	協議及び原型 組織、自のの差を不当などを伝え合う ためたる場合の場合を指すの構成を開業など ためたる場合の場合を指すの構成を開業など に、ののの差別を発生しませませます。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののの差別を表する。 に、ののである。 に、ののでので	0	С	0	0
の名を「動用の機能など最初となる。 「一般ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Direct and indirect ways of communication よンライン書名	0	0	0		0	無の関係を開催した場合、自分の世界で 「無数な行程」 に関数な行程」 に関数な行程」 に関数な行程」 に関数な行程」 に関数な行程」 に関数な行程」 に対している。 にがしる。			0	
の責任を結所しなから、自分の意光で主要 などを、論理の構成や展開を工夫して詳し 定期考査		ł	ŀ	ŀ	F	H	複数の資料を活用しながら、自分の意見	С	0	F	ł
定用考定 「加速など対対して主張などを包え合うため 「加速などの対象での場合である。 「加速などの影響である。 「加速などの影響である。」 「加速などの影響である。 「加速などの影響である。」 「加速などの影響である。 「加速などの影響である。」 「加速などの影響である。 「加速などの影響である。」 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。 「加速などの影響を表する。」 「加速などの影響を表する。」 「加速などのいる。」 「加速などのいるなどのいる。」 「加速などのいるなどのいる。」 「加速などのいるなどのいる。」 「加速などのいるなどのいる。 「加速などのいるなどのいるなどのいるなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのな	Should we use social media? 記事 ソーシャルメディアの良い語と 窓い描述者が北に罪を認み、 高校生にとってのソーシャル・ ディアについて変見を述べる。	0	0	0		0	・ 関連のでは記しています。	0	С	0	
・ 面型で物やで開からまた。 かし、 は、	Are you a good user of social modia? addia? addia? addia? addia? addia? addia? addia. addia.	0	0	0		0	は加速及び開発します。 では、		C	0	

 保谷
 高等学校
 令和6年度(3学年用)
 教科
 家庭科
 科目
 家庭基礎演習
 科目
 家庭基礎演習

 教科:
 家庭
 科目:
 家庭基礎演習
 単位
 2

 ス 付: 家庭
 科 目: 家庭基礎演習

 対象学年組:第
 3

 選択
 3

使用教科書: 家庭基礎 気づく力 築く未来(実教出版) 副教材 これであなたもひとり立ち

教科 家庭基礎演習の目標:

【 知識及び技能 】 家庭・衣食住・消費・住居等々について理解し、それらに関わる技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や社会生活の中の問題点を見いだし、解決策を模索し、論理的に表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 協議を通し、よりよい社会構築に向けて、実践しようとする。

科目 家庭基礎演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
	学習した内容を理解し、自己の生活課題や社的 課題を見つけ、解決方法を模索し、適格な表現 でまとめることができる。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準		思	態	配当 時数
	A単元 自立と共生 【知識及び技能】 職業を選択し、自立した一人暮らし について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 職業調査の発表。一人暮らしの経済 について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 職業調べ、住宅物件選び等を自主的 に行い、発表・質燥応答を通して多 面的な視野を獲得する。	であなたもひとり立ち」・プリン ト・DVD	【知識・技能】 各分野の仕事に関心を持ち、自分の進路につなげようとする取り組みができる。 【思考・判断・表現】 住宅物件情報を読み取り、住トラブル、環境に配慮した住生活に関心を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業調査・選択、住宅物件選びなどを自主的 に行い、適格に発表することができる。	0	0	0	12
	B単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活しやすさの基本を知り、改善につなげる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活を見直し、解決策を検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 家族の生活時間や、衣食住に関する 事に関心を持ち、一人で取り組むだけ。 。		【知識・技能】 写真・資料・実験・調査結果などの記録をも とに、結果をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 自らの生活基盤である家庭内での生活向上を 目指し、創意工夫につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族の協力も得て改善したプロセスを報告書 にまとめ、家族・友達等の評価を受ける。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
	A単元 保育 【知識及び技能】 身の周りの材料を用いた玩具や、お やつ作りの演習を通じて、子供の遊 び・食生活についての理解を深め る。 【思考力、判断力、表現力等】 2年次に学習く成本な課題について考えまり等く環境の様々な課題について考えさせる。子供の発達を促す 遊びの演習をする。 【学びに向かう力、人間性等】 児童文化財や、伝承遊びについて調 べ、素朴な遊びを体験する。	の子供の遊びを考えさせる。	【知識・技能】 子供の発達を理解し、成長に合ったおやつや 玩具が作製できる。 【思考・判断・表現】 子供を取り巻く様々な環境や社会状況を理解 できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供を楽しませる遊びの実践ができる。		0	0	10
2 学期	B単元 食文化食生活 【知識及び技能】 旬の食材を活用した栄養バランスの 良い献立作成と調理。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の食文化の考察。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の昼食に必要な栄養素につい て理解する。	せる。世界の食文化に触れさせる。 ・教材 教科書 ・一人 1 台端末の活用 ・調理実習	【知識・技能】 栄養・食品の知識をもとに、バランスのとれた献立作成ができる。世界の食文化を理解する。 【思考・判断・表現】 食品の特性と調理との関係を理解し、実際の食事作りに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に積極的に参加し取り組む。	0	0	0	13
	○単元 被服製作 【知識及び技能】 ミシンを使用し防災リュックを作製 する。 【思考力、判断力、表現力等】 防災に対しての関心を深め、非難時 に必要な品が入るパッグを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 防災リュックを製作することによ り、防災意識を高めながら、物作り に興味・関心を持つ。	・指導事項 小・中学校で学習した ミシンの使い方を復習しながら発展 させる。 ・教材 教科書 ・ミシン	ミシンを使った縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 防災グッズについての確認をしながら、作品 の制作に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 ボタンや刺繍などの手芸を用いて作品を発展 させる。	0		0	11
3 学期	的自立、性的自立に向けて、これまでの家庭基礎で学んだ技術や知識を確認し、これからの人生を設計する力をつけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 牛涯の生活設計、課題の解決につい	技術や知識を確認させ、これからの 人生設計につなげる。	【知識・技能】 自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握 する事ができる。 【思考・判断・表現】 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会 的背景について理解し、どのような生き方を したいのかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未来の自分自身と社会のあり方を考えようと する姿勢がある。	0	0	0	10 合計 70